



電子インナーミラー型ドライブレコーダー

TZ-D203M

品番：V9TZDR400A

TZ-D203MW

品番：V9TZDR401A

取扱説明書 本体編

この度は、本製品をご購入いただきまして、まことにありがとうございます。
ご使用になる前に、本書をよくお読みになり、本機を正しくお使いください。
なお、お読みになったあとは、大切に保管してください。

本機は、日常の運転をドライブレコーダーで記録し分析することで、安全運転についての改善や、効果的な運転管理を推進し、交通事故の防止および安全運転を促進する目的で製造販売しております。

microSDカードについての取り扱い注意事項

microSDカードの挿入／取り出しの際は、本機からDCプラグをはずし、必ず本体の動作LEDが消えたことを確認してからおこなってください。

microSDカードは消耗品です。一定使用期間が過ぎるとメモリーセクターの一部が損傷されて正常な録画ができない可能性があります。microSDカードによる不具合が発生した場合は、オプションのmicroSDカードと交換してください。

microSDカードを別にご購入する場合は、オプションのドライブレコーダー専用microSDカード(8GB:V9TZDRX09/16GB:V9TZDRX10/32GB:V9TZDRX11/64GB:V9TZDRX12)をご購入ください。

画像モードを変更するとmicroSDカードメンテナンスフリー機能により、ファイルシステムを再構築するため、フォーマットが発生し、記録ファイルが全て消去されます。あらかじめ、パソコンなどにファイルのコピーで記録ファイルのバックアップをおこなうことをおすすめします。

パソコンなどでmicroSDカード内の記録ファイルを変更(削除、追加、移動)しないでください。バックアップはファイルのコピーでおこなってください。

microSD™はSDアソシエーションの登録商標です。
microSD Logoは登録商標です。

STARVISおよび **STARVIS** はソニー株式会社の登録商標です。

その他会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。



専用ビューアソフトと専用ビューア説明書は、下記URLよりダウンロードしてください。

https://www.cellstar.co.jp/dlfm/download_viewer.php

もくじ

はじめに

安全上の注意	4
microSDカードについての取り扱い注意事項	6
使用上の注意	7
電子インナーミラーについての注意事項	7
ミラーについての注意事項	7
録画機能についての注意事項	7
取り付けについての注意事項	7
DCコードについて	7
microSDメンテナンスフリー機能について	8
パーキングモードについて	8
GPSについて	8
ナイトクリア Ver.2について	8
アイドリングストップ車での使用について	9
安全運転支援機能（リヤカメラ）について	9
GPSおしらせ機能について	9
専用ビューアソフトについて	9
カメラレンズの注意事項	9
事故発生時の注意事項	9
本体ソフトウェア更新について	9
本体/付属品	10
付属品	10
オプション品	11
各部の名称と機能	12
本体	12
リヤカメラ	13

フロントカメラ	13
---------	----

取り付けと準備

取り付け方法	14
本体をインナーミラーに取り付ける	15
リヤカメラをリヤガラスに取り付ける場合	16
取り付け位置（正面）	16
取り付け位置（側面）	17
リヤガラスへの取り付け	17
リヤカメラをリヤトレイに取り付ける場合	18
取り付け位置（側面）	18
本体とリヤカメラを接続	19
接続方法	19
リヤカメラの設定	19
フロントカメラをフロントガラスに取り付ける場合	20
取り付け位置（正面）	20
取り付け位置（側面）	20
フロントガラスへの取り付け	21
ボールジョイントの交換	22
本体とフロントカメラを接続	22
接続方法	22
フロントカメラの設定	22
GPSユニットを設置	23
接続方法	23
取り付け位置	23
ヒューズボックスから電源を取る場合	24
ACC線から直接電源を取る場合	25
配線処理	26
microSDカードの挿入および取り出し	27

microSDカードの挿入	27
microSDカードの取り出し	28

基本操作

製品の使用方法	29
電源のON/OFF	29
エラーメッセージ	30
ディスプレイ	31
モニター表示の切りかえ	32
バックモードの切りかえ	33
情報表示エリア	33
音量調整	33

録画方法	34
録画モードについて	34
クイック録画機能（手動）	35
撮影モードについて	35
パーキングモードについて	36
常時電源コードの設定	37
パーキングモードの録画モード設定	38
パーキングモードの動作LED	39
パーキングモードの動作	39

各種設定

各種設定の変更	40
設定の変更方法（例：アイコン・ガイド表示）	40
設定一覧	41
画像モード設定「カスタム」時、設定内容一覧	43
3Gセンサー感度「カスタム」時、設定内容一覧	43
リヤカメラ表示エリアの調整	44
日時の設定	46

その他の機能	47
再生モード	47
フォーマット	48
安全運転支援機能（Rカメラ）	49
後車接近警告	49
死角検知警告	49
安全運転支援機能（Rカメラ）の設定内容一覧	49

キャリブレーション（Rカメラ）	50
GPSおしらせ機能	51
GPSデータ更新	53
GPSデータの版数確認	53
MyCellstarについて	54
パソコンでGPSデータをダウンロード	54
GPS測位について	57
システムリセットと強制初期化（強制フォーマット）	58
システムリセット	58
強制初期化（強制フォーマット）	58
専用ビューアソフトについて	59

困ったときは

故障かな？と思ったら	60
------------------	----

その他

製品の仕様	61
microSDカードのデータについて	64

アフターサービス

アフターサービスについて	65
修理に関して	65
修理受付票	67

はじめに

取り付けと
準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

アフター
サービス

安全上の注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを次のように説明していきます。

- 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



危険

誤った取り扱いをすると「死亡または重傷などを負う可能性が切迫して想定される」内容です。



警告

誤った取り扱いをすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



注意

誤った取り扱いをすると「傷害を負う可能性または物的損害*の発生の可能性が想定される」内容です。
* 物的損害とは、車両・家屋・家財などに関わる拡大損害を示します。

- お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



この表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です。具体的な強制内容は、近くに文章で示します。



この表示は、してはいけない「禁止」の内容です。具体的な禁止内容は、近くに文章で示します。



この表示は、気をつけていただきたい「注意」の内容です。具体的な注意内容は、近くに文章で示します。



危険



本機は必ず定められた電圧（DC12V/24V）でご使用ください。

* 火災や感電、故障の原因となります。



運転中に本機を操作しないでください。

* 交通事故の原因となります。操作する場合は、必ず車を安全な場所に停止させ操作してください。



本機をエアバッグが作動する近くに設置しないでください。

* 事故発生時にエアバッグが正常に作動しないおそれがあります。または作動したエアバッグにより負傷の原因となります。



医療用電気機器の近くでは使用しないでください。

* ペースメーカーやその他の医療用電気機器に電波による影響を与えるおそれがあります。



水につけたり、水をかけたり、またぬれた手では絶対に操作しないでください。

* 火災や感電、故障の原因となります。



警告



本機の取り付けは、必ず車のパワー（イグニッション）スイッチをオフにし、キーを抜いた状態でおこなってください。

* 感電および故障の原因となります。



本機の結合部分、スピーカーなどの穴やすき間にはピンや針などの金属を入れないでください。

* 誤って差し込まれた場合は、すぐ使用を中止し取り除いてください。火災、感電、および故障の原因となります。



本機から煙が立つ、異臭がするなどの問題が発生した場合は、すぐに使用を中止してください。

* 火災などの原因となります。



本機を急激に温度が上昇する場所に長期間放置しないでください。

* 製品の変形および火災、爆発の原因となります。



コードをはずすときは、必ずプラグ部分を持ってはずしてください。また破損やキズが付いたコードは使わないでください。

* コードが損傷したまま使用すると、感電および火災の原因となります。



本機の表面はシンナー、アルコール、ベンゼンなどの揮発性物質または有機溶剤で拭かないでください。またゴムとビニールなどを長期間接触させないでください。

* 表面の変質や塗料がはげることがあり、故障および火災の原因となります。



本機を長時間動作した場合、レンズ部分が発熱します。直接手で触れないでください。

⚠ 警告

- ⚠ リヤカメラは、ガラス面またはリヤトレイなどに正しく取り付けてください。
 - * ガラス面またはリヤトレイなどをきれいに拭いたあと、本機を正しく確実に取り付けてください。正しく取り付けていない場合、本機がガラス面またはリヤトレイなどから外れ運転中に交通事故が発生する可能性があります。
- ⚠ 電源コードまたはソケット部のほこりや汚れはよく拭いて取り除いてください。
 - * 接続不良による感電および火災の原因となります。
- ⚠ 電子インナーミラーとしてお使いになる前、必ずリヤカメラ表示エリアの調整をおこなってください。
 - * 思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- ⚠ 本機のディスプレイに表示される映像は、インナーミラー（鏡）に映る範囲と異なります。

⚠ 注意

- ⚠ 本機に強い衝撃を与えないでください。
 - * 衝撃により製品の破損や故障の原因となります。
- ⚠ 本機の近くに磁気性があるものを置かないでください。
 - * 製品の誤作動および故障の原因となります。
- ⚠ 付属の GPS ユニットによる GPS 機能は初期作動時、起動するまでに時間がかかります。
 - * 受信環境、気象状況、および車両の位置などにより、数秒から数分がかかる場合があります。
- ⚠ フロントガラスにメタルコーティングされた車両は GPS 受信障害が発生することがあります。
- ⚠ トンネル入出時のように急激に明るさかわる場合、逆光が強い場合、夜に光源がない場合などの条件では録画品質が落ちることがあります。
- ⚠ 暗い環境では、なるべく高品質で録画するために、車両のヘッドランプやフォグランプをつけてください。
- ⚠ ガラスの表面や本機のカメラレンズの表面はいつもきれいにしておいてください。
 - * ほこりや異物による乱反射や屈折現象の発生で、きれいな映像を記録することができない可能性があります。
- ⚠ 本機は、推奨取付位置に設置してください。
 - * 推奨位置でない場所に設置されると記録映像がよれることがあります。
 - * 車両に応じて、よい録画ができる位置（推奨取付位置）に装着してください。
- ⚠ LED 方式の信号機では記録映像がちらつく（フリッカー）ことがあります。
- ⊘ 本機の分解、修理、または改造を絶対にしないでください。
 - * 故障の原因となり保証を受けることができません。
- ⊘ 本機は日本国内仕様です。海外ではご使用にならないでください。
- ⊘ 気温の低いところから高いところに本機を移した場合、本機内に結露が生じることがあります。
 - * 結露したまま使用すると故障や発熱の原因となります。使用しないでください。

microSDカードについての取り扱い注意事項

-  microSD カードの取り扱いには十分注意して、次の注意事項をよくお読みになりご使用ください。注意事項を守らずに発生するデータの損失および破損に関して一切の責任を負いかねます。
-  録画画質設定の変更や microSD カードの状態によっては、フォーマットが必要になります。
-  付属の microSD カードをフォーマットすると記録ファイルは、全て消去されます。あらかじめパソコンなどにバックアップすることをおすすめします。
-  microSD カードの容量によっては、起動時間が変動（長くなったり）する場合があります。
-  市販の microSD カードを使用した場合による、本機の動作異常に関して、一切の責任を負いかねます。
-  microSD カードをフォーマットする際は、必ず本機のフォーマット機能でおこなってください。
-  microSD カードは消耗品です。一定使用期間が過ぎるとメモリーセクターの一部が損傷されて正常な録画ができない可能性があります。
microSD カードによる不具合が発生した場合は、新しい指定の microSD カードと交換してください。
-  microSD カードを取り出す際は、必ず本機の電源が OFF になっていることを確認してから取りはずしてください。
 - * 本体の電源が入っている状態で microSD カードを取り出すと、データ損失などの原因となります。
-  一般的に microSD カードには、寿命があります。（各メーカーにより異なります）
 - * microSD カードを長期間使用しているなどの原因でデータに異常が発生した場合、新しい指定の microSD カードと交換してください。
-  microSD カードを保管、または持ち歩くときは、必ずケースに入れてください。
 - * ケースに入れずに保管または持ち歩くと、静電気および外部環境の原因により内部のデータが損失されることがあります。
-  パソコンなどで microSD カード内の記録ファイルを変更（削除、追加、移動）しないでください。バックアップはファイルのコピーでおこなってください。
-  microSD カードに本製品で記録されたデータ以外を格納しないでください。
 - * 正しく動作しない場合があります。
-  指定の microSD カード以外は使用しないでください。
 - * 指定以外の microSD カードを使用すると、正常に動作しない場合があります。
-  microSD カードスロットに異物を入れないでください。
 - * カードスロットの破損、または誤動作、故障の原因となります。
-  油がついた手や濡れた手で microSD カードスロットを触らないでください。
 - * microSD カードの損傷、または故障などの原因となります。
-  データのバックアップ、フォーマットおよび動作中には、絶対に microSD カードを取り出さないでください。
 - * microSD カードを損傷し、使用できなくなるおそれがあります。
-  microSD カードの分解、または改造などは、絶対にしないでください。
 - * microSD カードが破損するおそれがあります。
-  microSD カードを落下させたり、衝撃を与えないでください。
 - * microSD カードの破損、およびデータが損失されるおそれがあります。
-  microSD カードには向きがあります。挿入するときは向きを確認して、確実に最後まで差し込んでください。
 - * microSD カードが正しく挿入されていないと誤動作の原因となります。
-  microSD カードを別に購入する場合は、オプションのドライブレコーダー専用 microSD カード（8GB：V9TZDRX09 / 16GB：V9TZDRX10 / 32GB：V9TZDRX11 / 64GB：V9TZDRX12）をご購入ください。

使用上の注意

電子インナーミラーについての注意事項

- ・本機のディスプレイに表示される映像が見えにくい場合は、モニター表示をオフにしてインナーミラー（鏡）に切りかえてください。
- ・車のバックドアが開いているときは、映像が正しく表示、録画できません。バックドアが閉まっていることを確認してください。
- ・暗い場所では、実際の色と異なって見えたり、ヘッドランプなどで後続車の周囲が白くぼやけて見えることがあります。
- ・運転される方の体調、年齢などにより、ディスプレイに表示される映像に焦点が合わせづらい場合があります。
- ・リヤカメラのレンズ特性により、ディスプレイに表示される映像は、実際の位置や距離と異なって見えることがあります。

ミラーについての注意事項

- ・夜間走行の際、ミラーの特性によりミラーが暗く見えづらい場合があります。
- ・モニターをオフにするともミラーによりインナーミラー（鏡）として使用できます。
- ・ミラー（鏡）の特性により、取り付けの角度によっては後方の映り込みや太陽光が入る場合があります。インナーミラーの角度を上下に調整してください。

録画機能についての注意事項

- ・本機は自動車などの事故における証拠として、効力を保証するものではありません。
- ・本機はすべての状況下で録画を保証するものではありません。
- ・本機の故障や使用による損害、また録画した映像の破損や損傷によって生じた損害は、一切の責任を負いかねます。
- ・本機の動作を確認するため、急ブレーキなど危険な運転はおやめください。
- ・本機で録画した被写体は、プライバシーの侵害となる場合があります。取り扱いにご注意ください。
- ・LED方式の信号機では記録映像が点滅やチラつくことがあり、色の識別ができない場合があります。それにより生じた損害は、一切の責任を負いかねます。
- ・走行中に本機を操作したり、LEDランプを注視しないでください。クイック録画／撮影機能をおこなう場合、車を停止し、周囲の安全を確認したうえで操作してください。
- ・夜間の録画した映像にノイズが入っているように見えたり、夜間の映像が白っぽく録画されることがありますが、正常動作です。
- ・環境など様々な要因により、正しく録画されない場合があります。
- ・録画の条件により、録画のフレームレートやビットレートが変わる場合があります。
- ・電源ONのあと、録画の開始まで時間がかかります。必ず録画が開始されたことを確認してからご使用ください。

取り付けについての注意事項

- ・本機は、本書にしたがって、正しく取り付けてください。**【→P14】**
誤った取り付けは、道路運送車両法の保安基準に違反する場合があります。また交通事故やケガの原因となります。
- ・他の無線機やテレビ、ラジオ、パソコンなどの近くで使用すると、影響を受けたり、与えたりする場合があります。
- ・本体およびリヤカメラ、フロントカメラ（TZ-D203MWのみ）は防水構造ではありません。必ず車内へ取り付けてください。
- ・リヤカメラはガラス面またはリヤトレイなどの油分や汚れなどをしっかり拭き取り、確実に取り付けてください。
- ・本機は自動防眩式インナーミラー装備車にも取り付けできますが、防眩機能は失われます。
- ・リヤガラスが可動したりフィルムを貼っている車は、リヤトレイなどに取り付けてください。
- ・本機を取り付ける際、サンバイザーやサンシェード、室内カーテンなどに干渉することがあります。車両の機能に影響が出ないよう取り付けください
- ・角度調整ノブは強く締めすぎると破損する恐れがあります。固定の目安はドライブレコーダーに触れても動かない状態で。

DCコードについて

- ・本機は専用のDCコード（3極DCプラグ/2A）を使用してください。それ以外のDCコードを使用した場合、本機が正常に動作しません。

はじめに

取り付けと
準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

サブタイ
プス

microSDメンテナンスフリー機能について

- ・設定した録画画質によって microSDカードにセルスター独自のファイルシステムが適応されます。このファイルシステムでは、microSDカードに記録する際に発生してしまうファイルの断片化を無くし、録画データのエラー発生率を低減することができ、これにより定期的なフォーマットが不要となります。
- ・画像モード設定の変更やmicroSDカードの状態によっては、ファイルシステムを再構築するため、フォーマットが発生し、記録ファイルが全て消去されます。あらかじめ、パソコンなどにバックアップすることをおすすめします。
- ・付属のmicroSDカードは、工場出荷時の画像モード設定でファイルシステムが適応されています。
- ・新規購入したmicroSDカードは使用前に必ずフォーマットが必要となります。
- ・パソコンなどでmicroSDカード内の記録ファイルを変更（削除、追加、移動）しないでください。バックアップはファイルのコピーでおこなってください。

パーキングモードについて

- ・パーキングモードを使用するには、必ずオプションのGDO-41常時電源コード（496288602041）を使用してください。常時電源コードを接続していない状態では、パーキングモードは設定できません。
- ・パーキングモードの録画は、車両バッテリーの電源を使用するため、車両バッテリーに負担がかかります。定期的に車両バッテリーの点検をおこなってください。
- ・車両バッテリーの寿命を短くすることがあるため、オプションの常時電源コードの設定を**1時間、12Vに設定**することを推奨します。【➡P37】（GDO-41常時電源コードに付属の取扱説明書も併せてご参照ください。）
- ・車両バッテリーあがりに関して、一切の責任を負いかねます。
- ・暗い場所などでは録画できない場合があります。
- ・タイマー設定時間内であっても、バッテリーの電圧によっては電圧監視機能がはたらき、録画を停止します。あらかじめ、ご了承ください。
- ・パーキングモードを使用しない場合は、本機のパーキングモードの設定をオフにし、常時電源コードの時間設定を0時間にしてください。パーキングモードの設定 【➡P42】 常時電源コードの設定 【➡P37】

GPSについて

- ・GPSを受信するには、付属のGPSユニットの接続が必要です。
- ・GPSの受信環境により、動作に時間がかかる場合があります。
- ・前回のGPS受信から72時間を経過すると超速GPSは機能しません。その他、様々な条件により機能しない場合があります。最後に電源をOFFにしてから直線距離で300km以上離れた地点で電源をONにした場合、最後に電源をOFFにして次に電源をONしたときにGPS衛星の状態が異なる場合は、動作に時間がかかる場合があります。
- ・自車位置はGPSの受信で測位されます。GPSが受信できない場所では、完全な自車位置の測位をおこなうことができません。
- ・録画データに記録される日時、車両の走行速度、位置情報は、GPSの測位から算出するため、実際の数値と異なる場合があります。
- ・取り付けになる車両のウインドウが熱反射ガラスの場合、電波の透過率が低い場合GPSが受信しにくい場合や、できない場合があります。熱反射ガラスの使用の有無は車両のディーラーやメーカーへお問い合わせください。

ナイトクリア Ver.2について

- ・STARVIS™IMX307搭載。STARVIS（スタービス）は、1μm²あたり、2000mV以上（カラー品、706cd/m²光源撮像時、F5.6、1s蓄積換算）の感度を有し、可視光領域に加え近赤外領域までの高画質を実現した、監視カメラ用途CMOSイメージセンサ用裏面照射型画素技術です。
- ・夜間、トンネル内など、少ない光量でも映像を記録できますが、走行状況によっては、白とびが発生する場合があります。ナイトクリアまたはHDRナイトクリア1～3で調整してください。【➡P41】

アイドリングストップ車での使用について

- ・一部のアイドリングストップ車では、再始動時に電源確保のため各部分への供給電圧が低下することがあります。これにより本体の電源が落ちる場合があります。

安全運転支援機能（リヤカメラ）について

- 安全運転支援機能を使用する前に必ず「キャリブレーション」設定をおこなってください。【⇒P50】
- 夜間や悪天候時、また昼間でも路面や走行状況によって機能が動作しない、または頻繁に警告する場合があります。
- 取り付けはできるだけ車両の左右の中央部に付けてください。中央部から外れますと判定誤差が大きくなり、警告しない、または頻繁に警告する場合があります。
- 安全運転支援機能の動作は目安です。実際の道路状況にしたがって走行してください。
- 安全運転支援機能による事故に関し一切の責任を負いかねます。
- 横切る車、ヘッドランプなどのON/OFFにより安全運転支援機能が誤動作する場合があります。

GPSおしらせ機能について

- GPSを受信するには、付属のGPSユニットの接続が必要です。
- GPSデータは、独自調査によるデータと、公表されているデータを参考に集計、作成しています。
- 事故多発エリアは警視庁、国土交通省の統計データより集計していますが、集計の時期またその後の道路の改良などにより実際の状況と異なる場合があります。また首都圏や都市部などでは事故多発エリアが集中し警告が頻繁におこなわれる場合があります。
- GPSの測位状態によっては動作しない場合があります。
- GPSおしらせ機能を使用する場合、GPSおしらせ機能をオンにしてください。
- 本サービスは予告なく終了させていただくことがあります。あらかじめご了承ください。

専用ビューアソフトについて

- 専用ビューアソフトと専用ビューア説明書は、下記URLよりダウンロードしてください。
https://www.cellstar.co.jp/dlfrm/download_viewer.php
- 録画映像は、Windowsメディアプレイヤーなど専用ビューア以外でも再生できますが、専用ビューア以外での動作やデータ保全に関し、一切の責任を負いかねます。

カメラレンズの注意事項

- 本機の動作中、カメラのレンズ部分が発熱することがありますが、異常動作ではありません。レンズ部分は大変熱くなっていますので直接手で触れないようご注意ください。

事故発生時の注意事項

- イベント録画が保存されない場合があるため、事故発生時は本機からmicroSDカードを取り出し、付属のmicroSDカードケースに保管してください。【⇒P28】
- パソコンでmicroSDカードを読み込んだ際、SDカードのエラーメッセージが表示する場合がありますがCHKDSK（チェックディスク）プログラムなどで修復処理をおこなわないでください。記録映像が完全に消えてしまう可能性があります。
- スマートフォンなどでmicroSDカードを読み込むと、不要なファイルが書き込まれ、データが消えてしまうおそれがあります。

本体ソフトウェア更新について

- ドライブレコーダーをより快適にご利用いただくため、本体ソフトウェア更新プログラムを配信する場合があります。その場合は、下記WEBサイトに更新プログラムをアップデートしておりますので、常に最新のソフトウェアに更新してご使用ください。

<https://www.tacti.co.jp/sds/tz/>

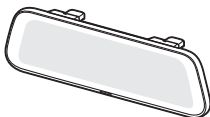
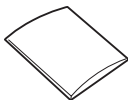
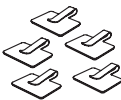
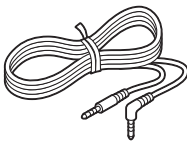
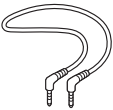


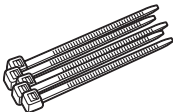
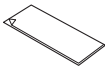
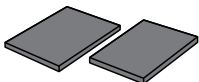
本体/付属品

付属品

本機を使用する前に、必ず同梱物を確認してください。

* その他注意書きが同梱している場合がございます。

☐ 電子インナーミラー本体 	☐ リヤカメラ  * カメラの本体に「R-CAM」と表記しています	☐ フロントカメラ  * TZ-D203MWのみ付属 * カメラの本体に「F-CAM」と表記しています	☐ マウントベース TZ-D203M × 1 TZ-D203MW × 2 
☐ ボールジョイント (ストレート) TZ-D203M × 1 TZ-D203MW × 2 	☐ 両面テープ (ガラス用) TZ-D203M × 1 TZ-D203MW × 2  色: 黒	☐ リヤカメラ用両面テープ (リヤトレイ用) × 1  色: グレー	☐ 直結配線 DC コード (3 極 DC プラグ / 2A) 
☐ 脱脂クリーナー 	☐ microSD カード (64GB) * SDカード変換アダプタ、SDカードケース付属 * 本体のmicroSDカードスロットに挿入されています。 	☐ GPS ユニット  コード長: 3.5m	☐ GPS ユニット用両面テープ 
☐ コードクリップ × 5 	☐ リヤカメラ接続コード  コード長: 9.0m	☐ フロントカメラ接続コード  * TZ-D203MWのみ付属 コード長: 0.8m	☐ コードレール 

☐ バンドクランプ×5 	☐ 撮影中ステッカー 	☐ スパイラルチューブ 	☐ スポンジテープ×2 
☐ エレクトロタップ×2 	☐ 取扱説明書（本書） 	☐ トラブルシューティングガイド 	

はじめに

取り付けと
準備

基本操作

オプション品

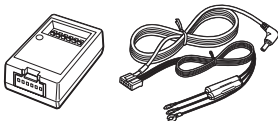
別途お買い求めください。

各種設定

困ったときは

その他

アフター
サービス

品名	使用目的／仕様	品番
フロントカメラ 	フロントカメラを接続すると、前方が録画できます。 * TZ-D203MWは付属しています。 * フロントカメラ接続コード、マウントベース、両面テープが付属しています。	V9TZDRX13 コード長：0.8m
ドライブレコーダー専用 microSD カード 	microSD カードを新たに購入される場合は、TZ microSD カードをおすすめします。	8GB: V9TZDRX09 16GB: V9TZDRX10 32GB: V9TZDRX11 64GB: V9TZDRX12
GDO-41 常時電源コード (3 極 DC プラグ / 2A) 	パーキングモード機能を利用する場合に使用します。最大 12 時間まで電源を供給します。 【→ P36】 * コード、両面テープ、コードクリップが付属しています。	496288602041 コード長：5.0m

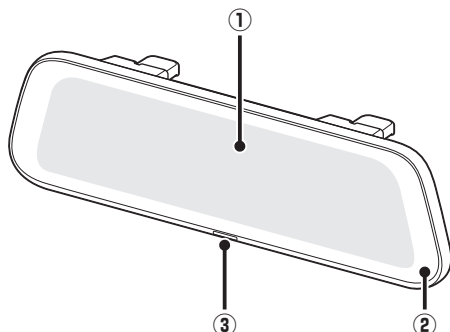


本機に適合したオプション品の型番は、以下URLの接続対応表をご覧ください。
https://www.cellstar.co.jp/products/pdfs/radar_drive/taiou.pdf

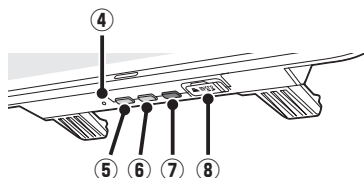
各部の名称と機能

本体

【正面】



【正面下部】



① ディスプレイ

カメラ映像を表示します。

② ミラー

モニターをオフにするとインナーミラー（鏡）として使用できます。

③ 動作LED

本機の動作状態を表示します。

④ リセットボタン

本機を再起動します。

⑤ 左ボタン

モニター切り替え、バックモード、本機の操作に使用します。

⑥ 中ボタン

再生モード、本機の操作に使用します。

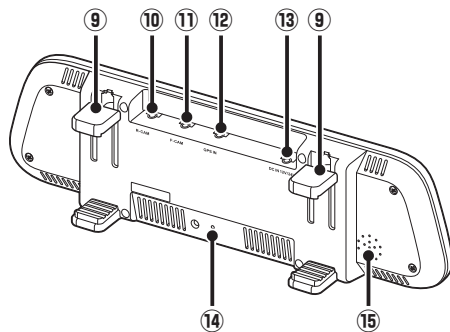
⑦ 右ボタン（オレンジ色）

クイック録画、音量の調整、本機の操作に使用します。

⑧ microSDカードスロット

付属またはオプションの microSD カードを挿入します。

【背面】



⑨ アーム部

アーム部を可動し、車両のインナーミラーに取り付けます。

⑩ リヤカメラソケット (R-CAM)

付属のリヤカメラを接続します。

⑪ フロントカメラソケット (F-CAM)

付属のフロントカメラを接続すると前方を録画できます。

* TZ-D203M は、オプションのフロントカメラ (V9TZDRX13) が必要です。

⑫ GPSソケット (GPS IN)

付属の GPS ユニートを接続すると GPS を受信できます。

⑬ 12V/24Vソケット (DC IN)

付属の直結配線 DC コードまたはオプションの GDO-41 常時電源コード (496288602041) を接続します。

⑭ マイク

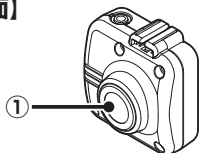
映像記録中の音声を録音します。

⑮ スピーカー

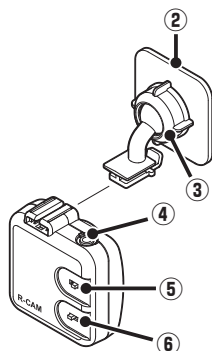
音声を出力します。（モノラル）

リヤカメラ

【前面】



【背面】



① 撮影用カメラレンズ

*出荷時に保護フィルムが貼られています。
剥がして使用してください。

② マウントベース

両面テープ（ガラス用）でリヤガラスに取り付けます。

*リヤトレイに取り付ける場合、マウントベースをボールジョイント（ストレート）に変更し、リヤカメラ用両面テープ（リヤトレイ用）で取り付けます。

③ 角度調整ノブ

リヤカメラの取り付け角度を調整します。

④ カメラ接続端子

付属のリヤカメラ接続コードで本体のリヤカメラソケット（R-CAM）に接続します。

⑤ 上下切りかえスイッチ

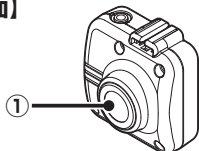
カメラ映像の上下反転時に使用します。【⇒ P19】

⑥ 正像鏡像切りかえスイッチ

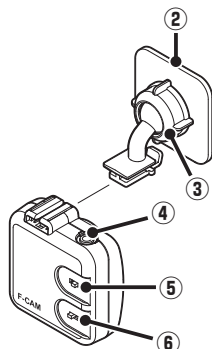
カメラ映像の左右反転時に使用します。【⇒ P19】

フロントカメラ * TZ-D203MWのみ付属しています。

【前面】



【背面】



① 撮影用カメラレンズ

*出荷時に保護フィルムが貼られています。
剥がして使用してください。

② マウントベース

両面テープ（ガラス用）でフロントガラスに取り付けます。

③ 角度調整ノブ

フロントカメラの取り付け角度を調整します。

④ カメラ接続端子

付属のフロントカメラ接続コードで本体のフロントカメラソケット（F-CAM）に接続します。

⑤ 上下切りかえスイッチ

カメラ映像の上下反転時に使用します。【⇒ P22】

⑥ 正像鏡像切りかえスイッチ

カメラ映像の左右反転時に使用します。【⇒ P22】

はじめに

取り付けと
準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

アフター
サービス

取り付け方法

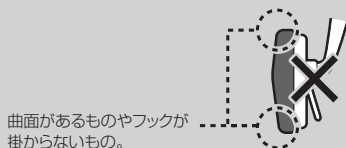
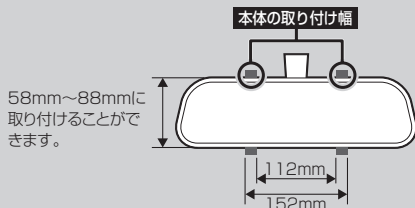
⚠ 注意

本機を車両に取り付ける前に、次の内容を確認のうえ取り付けてください。

- 本機の誤った取り付けは、道路運送車両法の保安基準に違反する場合があります。正しく取り付けてください。
- 本機を安全に取り付けるために、取り付け作業は明るく安全な場所でおこなってください。
- 本機を取り付ける前には、必ず車のパワー（イグニッション）スイッチをオフにし、キーを抜いた状態で取り付けてください。
- 本機に専用のDCコード（3極DCプラグ/2A）以外のコードを使用しないでください。
- 本機を設置した部分のガラスは、いつもきれいに保ってください。
- 本体およびリヤカメラは防水構造ではありません。雨などで本機やコードがぬれないようご注意ください。

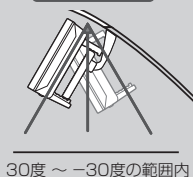
✓ アドバイス

- 本体は下記寸法内のインナーミラーに取り付けて使用することができます。特殊なサイズや形状のインナーミラーには取り付けることができません。*一部機能を損なう恐れがあります。



- 純正インナーミラーの形状によっては取り付けできない場合があります。
- 本機は自動防眩式インナーミラー-装備車にも取り付けできますが、防眩機能は失われます。
- インナーミラーに強い荷重がかからないよう、インナーミラーを支えて取り付けてください。また、車体への取付強度が弱い一部の車種などは、破損の原因となりますのでご注意ください。
- 本体を水平面に対して下図の角度の範囲内で取り付けない場合、Gセンサーが正しく動作しないことがあります。

横から見た角度



正面から見た角度

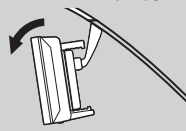
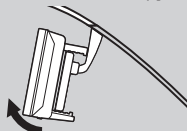


- * 範囲内で取り付けた場合、自動的にGセンサーの補正をおこないます。
- * 常に一定方向のGを表示している場合、水平な場所で電源を入れなおしてください。
- ミラー（鏡）の特性により、取り付ける角度によっては後方の映り込みや太陽光が入る場合があります。インナーミラーの角度を上下に調整してください。

横から見た角度

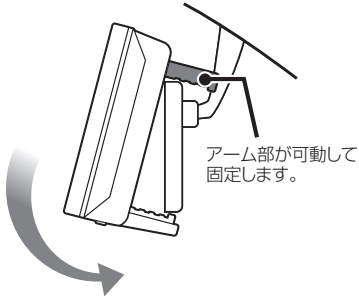
■ インナーミラーを上に向ける場合

■ インナーミラーを下に向ける場合

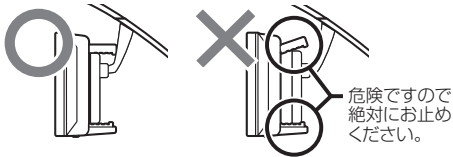


本体をインナーミラーに取り付ける

本体のアーム部をインナーミラーの上部にひっかけ、矢印のようにインナーミラーに取り付ける。



振動により落下しないために、アーム部分を曲げずインナーミラーに本体を密着させ、しっかり取り付けてください。



はじめに

取り付けと
準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

アフター
サービス

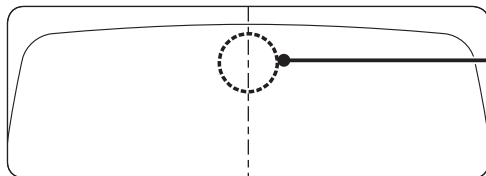
リヤカメラをリヤガラスに取り付ける場合

* セダンなどのリヤトレイに取り付けることもできます。【➡P18】

取り付け位置（正面）

図のようにリヤカメラの後方を遮ることがないように取り付けてください。

リヤガラス



リヤガラスの中央位置に設置すると、最適な録画映像を得ることができます。

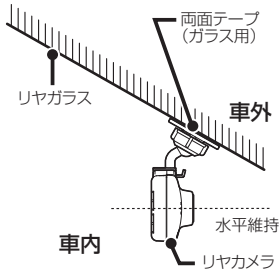
⚠ 注意 リヤガラスにリヤカメラを取り付ける前に下記内容を必ず確認してください。

- 運転に支障がないよう、必ず電子インナーミラーに表示するリヤカメラ表示エリアを調整してください。【➡P44、P45】
- 事故発生時の衝撃によりリヤカメラが外れる場合があります。ガラス面の油分や汚れを付属の脱脂クリーナーでしっかり拭き取り、リヤカメラを確実に取り付けてください。
- リヤガラスが可動したりフィルムを貼っている車は、リヤトレイなどに取り付けてください。
- リヤのサンシェードなどに問題がないことを確認してください。
- 両面テープの貼り付け面がリヤガラスの熱線と重ならないように取り付けてください。
- プライバシーガラスやフィルムを貼られてる車両は、夜間や暗い場所では録画した映像が見づらくなる場合があります。リヤカメラ設定で調整してください。【➡P41】
- ラジオアンテナやGPS、地デジアンテナ付近にリヤカメラ接続コードを配線すると、これらの受信感度が下がる場合があります。
- リヤワイパーが装着された車両の場合、ワイパーの拭き取り範囲内に取り付けてください。
- リヤワイパー非装着車およびワイパー拭き取り範囲外に取り付けると、リヤガラスの汚れや雨などにより録画記録映像が見づらくなる場合があります。
- エアバッグの動作や運転の妨げにならない位置に取り付けてください。
- ハイマウントストップランプの光や、後続車両のライトにより録画した映像が見づらくなる場合があります。
- 取り付けにより車両に問題が発生した場合、一切の責任を負いかねます。
- 安全運転支援機能（Rカメラ）を有効にするにはキャリブレーション設定をおこなってください。【➡P50】

取り付け位置（側面）

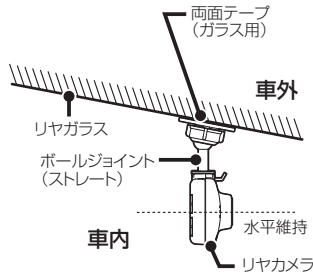
- 図のようにリヤカメラの後方を遮ることがないように取り付けてください。
- リヤカメラが取り付け付いた状態で、図のようにリヤカメラが水平を維持するように調整してください。図のように水平が維持できないと、正しい状態で録画できません。
- 取り付け場所によっては、リヤガラスの熱線やプライバシーガラスが映像の邪魔となる場合があります。

■ 一般的な乗用車

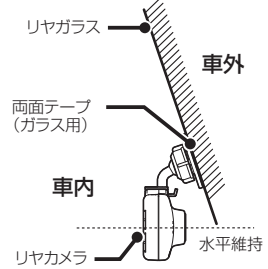


■ リヤガラスが寝ている車

※ボールジョイント(ストレート)に交換します。



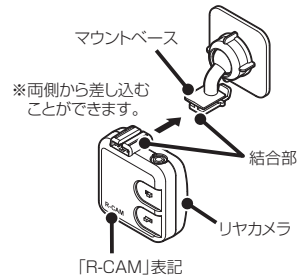
■ ワンボックスやトラックなど



リヤガラスへの取り付け

※ カメラ本体に「R-CAM」と表記されているカメラを使用します。

- 1 マウントベースとリヤカメラの結合部を合わせ、矢印の方向に差し込む。

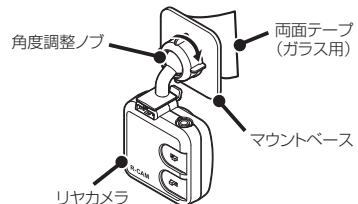


- 2 両面テープ（ガラス用）を使用してリヤガラスに取り付ける。

※ 推奨の設置位置を参照して、熱線避けて取り付けてください。

- 3 角度調整ノブを右側にまわしてリヤカメラを固定する。
角度調整ノブを緩めるとリヤカメラの取り付け角度を調整できます。

- ※ 角度調整ノブは強く締めすぎると破損する恐れがあります。固定の目安はドライブレコーダーに触れても動かない状態です。
- ※ 必要に応じて、先にマウントベースを車両両側に取り付けてからリヤカメラを設置してください。
- ※ リヤカメラの上下切りかえスイッチを↑、正像鏡像切りかえスイッチをN（正像）に変更してください。【➡P19】



はじめに

取り付けと準備

基本操作

各種設定

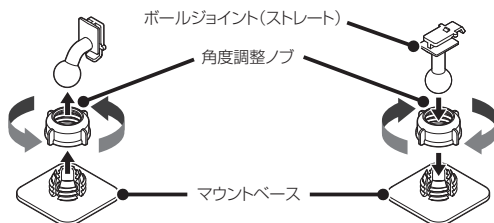
困ったときは

その他

アフターサービス

リヤカメラをリヤトレイに取り付ける場合

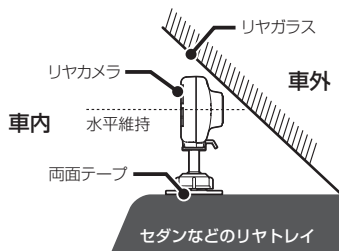
マウントベースから角度調整ノブをはずし、ボールジョイント(ストレート) に付けかえます。



- * 先にボールジョイントを角度調整ノブに差し込み、マウントベースに取り付けてください。
- * 角度調整ノブは強く締めすぎると破損する恐れがあります。固定の目安はドライブレコーダーに触れても動かない状態です。

取り付け位置 (側面)

図のようにリヤカメラの後方を遮ることがないように取り付けてください。



- * リヤカメラの上下切りかえスイッチを↓、正像鏡像切りかえスイッチをN (正像) に変更してください。【➡P19】

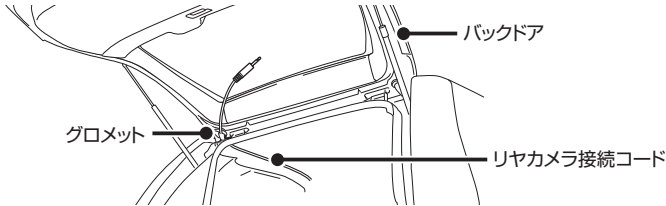
⚠ 注意 リヤトレイにリヤカメラを取り付ける前に下記内容を必ず確認してください。

- 運転に支障がないよう、必ず電子インナーミラーに表示するリヤカメラ表示エリアを調整してください。【➡P44、P45】
- 事故発生時の衝撃によりリヤカメラが外れる場合があります。リヤトレイの油分や汚れを付属の脱脂クリーナーでしっかり拭き取り、リヤカメラを確実に取り付けてください。
- リヤのサンシェードなどに問題がないことを確認してください。
- ブライバシーガラスやフィルムを貼られてる車両は、夜間や暗い場所では録画した映像が見づらくなる場合があります。リヤカメラ設定で調整してください。【➡P41】
- ラジオアンテナやGPS、地デジアンテナ付近にリヤカメラ接続コードを配線すると、これらの受信感度が下がる場合があります。
- リヤワイパーが装着された車両の場合、ワイパーの拭き取り範囲内に取り付けてください。
- リヤワイパー非装着車およびワイパー拭き取り範囲外に取り付けると、リヤガラスの汚れや雨などにより録画記録映像が見づらくなる場合があります。
- エアバックの動作や運転の妨げにならない位置に取り付けてください。
- ハイマウントストップランプの光や、後続車両のライトにより録画した映像が見づらくなる場合があります。
- 取り付けにより車両に問題が発生した場合、一切の責任を負いかねます。
- 安全運転支援機能 (Rカメラ) を有効にするにはキャリブレーション設定をおこなってください。【➡P50】

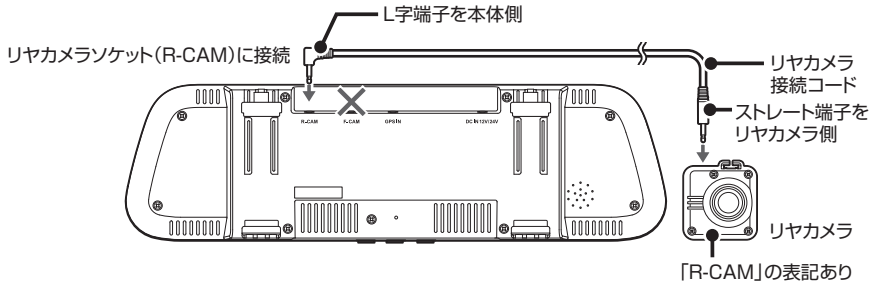
本体とリヤカメラを接続

接続方法

- 1 リヤカメラに接続するリヤカメラ接続コードを配線する。
バックドアがある車は、リヤカメラ接続コードをグロメット内に通して配線してください。



- 2 リヤカメラ接続コードで本体にリヤカメラを接続する。



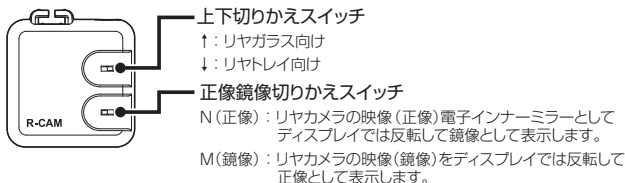
⚠ 注意

- ・リヤカメラ（カメラ本体にR-CAMと表記）はリヤ専用となります。フロント用のカメラとして使用しないでください。
- ・リヤカメラ接続コードのプラグをソケットの奥までしっかりと差し込んでください。

リヤカメラの設定

リヤカメラの設置場所に合わせてリヤカメラの設定を変更します。

■ 推奨設定



はじめに

取り付けと
準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

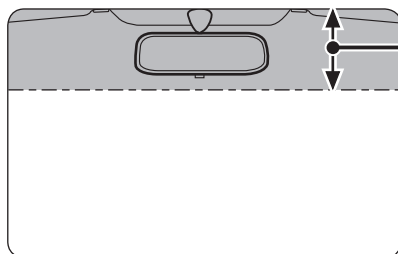
アフター
サービス

フロントカメラをフロントガラスに取り付ける場合

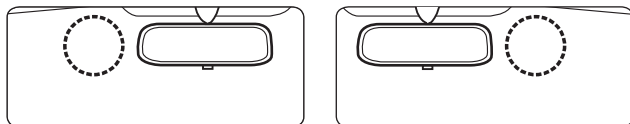
- * TZ-D203Mはオプションのフロントカメラ（V9TZDRX13）が必要です。
- * 付属のリヤカメラ（カメラ本体にR-CAMと表記）はフロントガラスに取り付けしないでください。

取り付け位置（正面）

フロントガラス



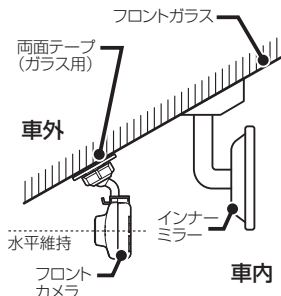
フロントガラス上部から
フロントガラス全体の20%
以内に取り付けてください。



フロントガラスの中央部に設置できない場合は、広い視野角を活用して
インナーミラーの左、もしくは右側に設置することもできます。
中央部に設置できない場合、録画映像が片方にかたよる可能性があります。

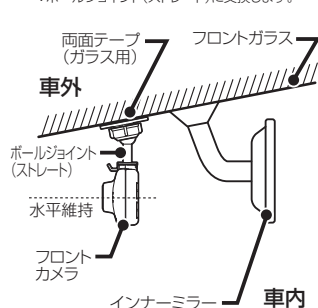
取り付け位置（側面）

■ 一般的な乗用車

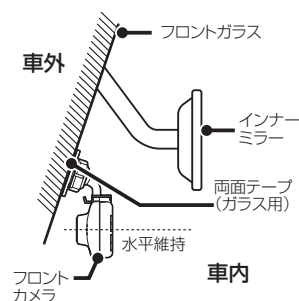


■ フロントガラスが寝ている車

*ボールジョイント(ストレート)に交換します。



■ ワンボックスやトラックなど



- ・ 図のようにフロントカメラの前方を遮ることがないように取り付けてください。
- ・ 本機が取り付けいた状態で、図のように本体が水平を維持するように調整してください。図のように水平が維持できていないと、正しい状態で録画できません。

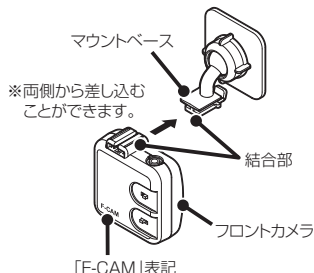
⚠ 注意 フロントカメラを取り付ける前に下記内容を必ず確認してください。

- ・事故発生時の衝撃によりフロントカメラが外れる場合があります。フロントガラスの油分や汚れを付属の脱脂クリーナーでしっかり拭き取り、フロントカメラを確実に取り付けてください。
- ・ワイパーの拭き取り範囲内に取り付けてください。ワイパー拭き取り範囲外に取り付けると、フロントガラスの汚れや雨などにより録画記録映像が見つからない場合があります。
- ・エアバックの動作や運転の妨げにならない位置に取り付けてください。
- ・取り付けにより車両に問題が発生した場合、一切の責任を負いかねます。

フロントガラスへの取り付け

* カメラ本体に「F-CAM」と表記されているカメラを使用します。* TZ-D203Mはオプションのフロントカメラ (V9TZDRX13)

1 マウントベースとフロントカメラの結合部を合わせ、矢印の方向に差し込む。

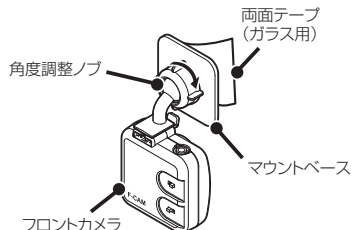


2 両面テープ (ガラス用) を使用してフロントカメラを設置する場所に取り付ける。

* 推奨の設置位置を参照して、取り付けてください。

3 角度調整ノブを右側にまわしてフロントカメラを固定する。

角度調整ノブを緩めるとフロントカメラの取り付け角度を調整できます。



- * 角度調整ノブは強く締めすぎると破損する恐れがあります。固定の目安はドライブレコーダーに触れても動かない状態です。
- * 必要に応じて、先にマウントベースを車両側に取り付けてからフロントカメラを設置してください。
- * フロントカメラの上下切りかえスイッチを↑、正像鏡像切りかえスイッチをN (正像) に変更してください。【→P22】

はじめに

取り付けと
準備

基本操作

各種設定

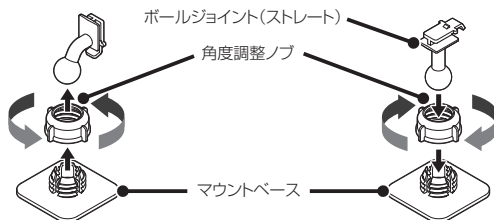
困ったときは

その他

アフター
サービス

ボールジョイントの交換

マウントベースから角度調整ノブをはずし、ボールジョイント（ストレート）に付けかえます。



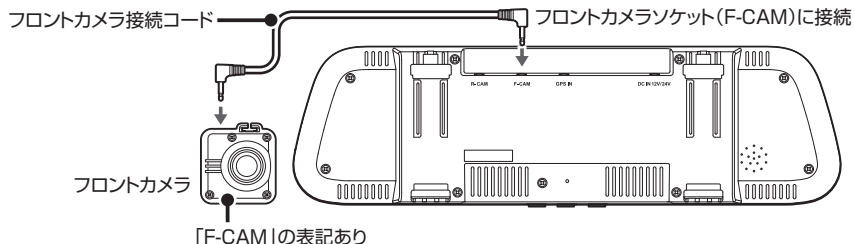
- * 先にボールジョイントを角度調整ノブに差し込み、マウントベースに取り付けてください。
- * 角度調整ノブは強く締めすぎると破損する恐れがあります。固定の目安はドライブレコーダーに触れても動かない状態です。

本体とフロントカメラを接続

* TZ-D203Mはオプションのフロントカメラ（V9TZDRX13）が必要です。

接続方法

フロントカメラ接続コードで本体にフロントカメラを接続します。



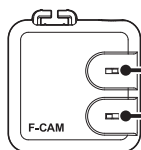
⚠ 注意

- ・フロントカメラ接続コードのプラグをソケットの奥までしっかりと差し込んでください。

フロントカメラの設定

フロントカメラの設置場所に合わせてフロントカメラの設定を変更します。

■ 推奨設定



上下切りかえスイッチ

- ↑：フロントガラス向け
- ↓：設定しません

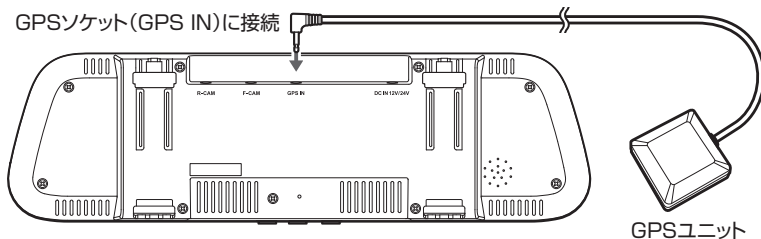
正像鏡像切りかえスイッチ

- N（正像）：フロントガラス向け
- M（鏡像）：設定しません

GPSユニットを設置

接続方法

GPSユニットを本体に接続します。

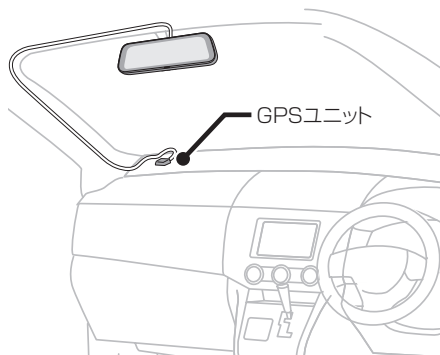


⚠ 注意

- GPSユニットのプラグをソケットの奥までしっかりと差し込んでください。

取り付け位置

GPSユニットを取り付ける場合は、ダッシュボードに付属のGPSユニット用両面テープで設置します。



はじめに

取り付けと
準備

基本操作

各種設定

困ったときは

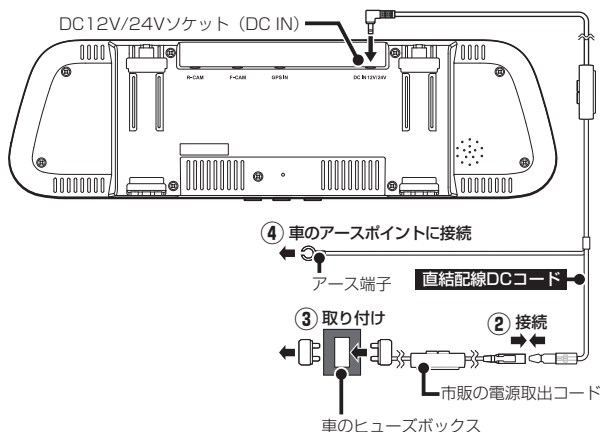
その他

アフター
サービス

ヒューズボックスから電源を取る場合

市販の電源取出コード（平型ヒューズタイプなど）を使用して、ヒューズボックスから電源を取ることができます。

- 1 ACC オン/オフに連動するヒューズボックス内のヒューズ（アクセサリソケット、ラジオなど）を探す。
- 2 直結配線DCコードと電源取出コードを接続する。
- 3 ヒューズボックスのヒューズを抜き、電源取出コードをバッテリー側に差し込む。
- 4 直結配線DCコードのアース端子を車のアースポイントに接続する。



✓ アドバイス

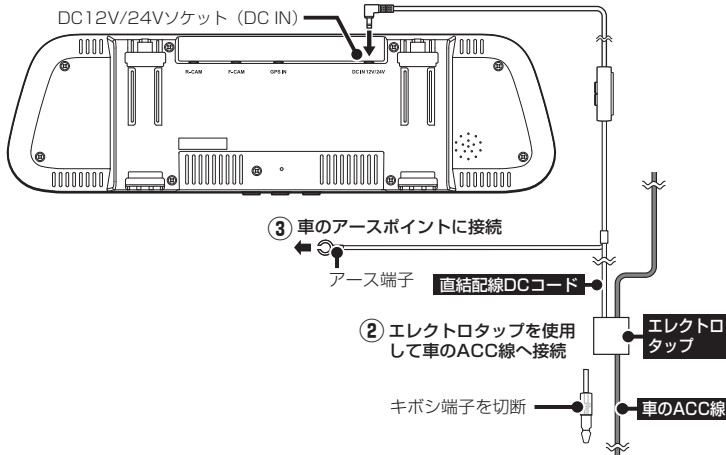
パワー（イグニッション）スイッチをオンにして本機の電源が入らない場合は、以下の点を点検してください。

- ・コード類の接続
- ・車、またはDCコード内のヒューズ

ACC線から直接電源を取る場合

付属のエレクトロタップを使用して、車のACC線から直接電源を取ることができます。

- 1 テスターなどで、車のキーをACC オンにしたときに12Vもしくは24V、オフにしたときに0VになるACC線を探す。
- 2 直結配線DCコードのギボシ端子を切り落とし、付属のエレクトロタップを使用して車のACC線へ接続する。
- 3 直結配線DCコードのアース端子を車のアースポイントに接続する。



⚠ 注意

アース端子接続

アース端子は車のアースポイントに接続してください。

【取り付けに適している場所】

車の電装のアースポイント（コンピューター、リレーなどのアースコードを直接ボディに接続しているところ）

【取り付けに適さない場所】

- ・アンダーダッシュやセンターコンソールなど樹脂を止めているネジ（タッピングネジなど）
- ・チルトステアリング装備車で、ステアリングと一緒に動作（上下）する金属部分

はじめに

取り付けと
準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

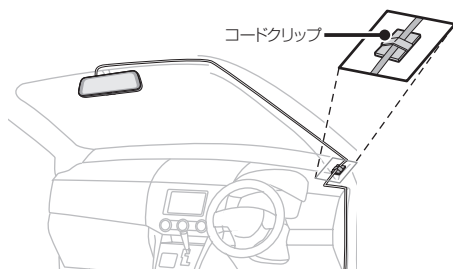
アフター
サービス

配線処理

コード類は運転の妨げとならないように、付属のコードレールやコードクリップ、バンドクランプなどを利用して、配線処理してください。

余分なコード類はビニールテープなどでしっかり束ねてください。コード類を表面に出したくない場合は、ガラスと内張りなどの隙間やパッキン類の隙間に入れます。

取り付けと
準備



⚠ 注意

- 配線の際、エアバッグの内蔵されている内張りなどの周囲では、十分に注意して作業をおこなってください。また、エアバッグの内蔵されている部品などをはずさないでください。必要な場合には、必ずカーディーラーの指示を受けてください。コードが可動部分に挟み込まれたり、無理に曲げたりしないように配線処理してください。
- コードを車のダッシュボードなどに固定した場合は、ダッシュボードなどの材質や使用環境により、コードの被覆がダッシュボードなどに色移りする場合があります。十分ご注意ください。

コードレールを使用した配線処理

コードレールの溝にコードを埋め込みます。



スパイラルチューブを使用した配線処理

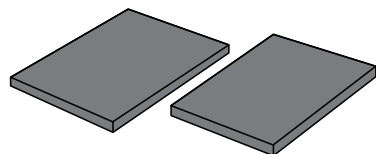
スパイラルチューブを使用してコード類をまとめてください。

スパイラルチューブを適当な長さで切り、使用します。



スポンジテープで保護

本機やコード類が車と干渉する場所にスポンジテープで保護してください。



microSDカードの挿入および取り出し



注意

microSD カードを使う前に、次の内容を確認してご使用ください。

- microSDカードは、指定のmicroSDカードをご使用ください。なお、microSDカードは、本機に挿入されています。指定以外のmicroSDカードを使用されると、データの損失や記録できない可能性があります。
- microSDカードを電源がONになっている状態で抜き差ししないでください。本機が正常に動作しない場合があります。
- microSDカードを取り出すときは、本体からDCコードをはすし、動作LEDが消灯し、電源がOFFになっていることを確認してからおこなってください。動作LEDが点灯している状態でmicroSDカードを取り出すと録画を終了することができず、記録映像が中断されるか一部分が削除されるなど、場合によってはmicroSDカードが破損するおそれがあります。
- microSDカードをフォーマットする際は、必ず本機のフォーマット機能でおこなってください。
- microSDカードをフォーマット、または画像モードを変更すると、記録ファイルは全て消去されます。あらかじめパソコンなどにバックアップすることをおすすめします。
- 付属のmicroSDカード以外を挿入すると、カードの異常エラーを表示する場合があります。画面の指示にしたがってフォーマットをおこなってください。
- microSDカードの容量によっては、起動時間が変動（長くなったり）する場合があります。
- パソコンなどでmicroSDカード内の記録ファイルを変更（削除、追加、移動）しないでください。バックアップはファイルのコピーでおこなってください。

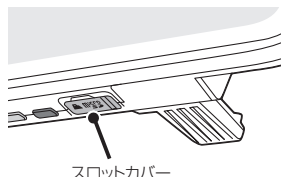
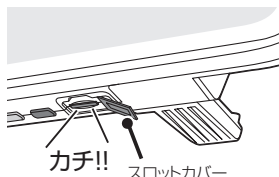
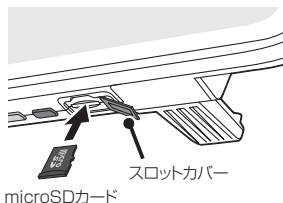
はじめに

取り付けと
準備

基本操作

microSDカードの挿入

* 必ず、本体からDCコードをはすし、動作LEDが消灯し電源がOFFになっていることを確認してからおこなってください。



各種設定

困ったときは

その他

アフター
サービス

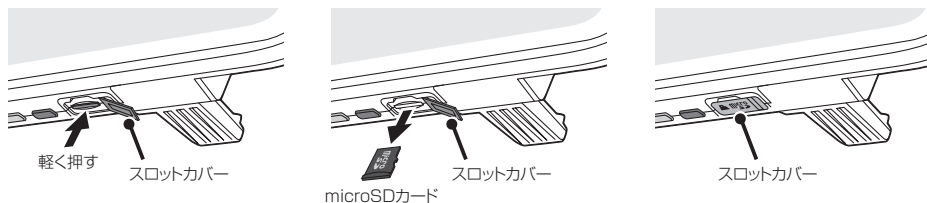


注意

- microSDカードが挿入されていないと本機は動作しません。
- microSDカードには向きがあります。差し込む向きに注意して最後まで確実に挿入してください。正しく挿入されていないとmicroSDカードの破損、および誤動作の原因になります。
- microSDカードの接続端子には手を触れないでください。汚れや異物が付着するとカード内のデータが損失するおそれがあります。

microSDカードの取り出し

* 必ず、本体からDCコードをはずし、動作LEDが消灯し電源がOFFになっていることを確認してからおこなってください。



- 1 本体のスロットカバーをめくり、microSDカードを軽く押し込む。
- 2 microSDカードを取り出す。
- 3 microSDカードを取り出したあと、スロットカバーを閉じる。

製品の使用法

⚠ 注意

製品を使用する前に次の内容を熟知してください。

- 車の運転中は本機の操作を絶対にしないでください。
- 映像の記録は、microSDカードが正しく挿入されているときのみ可能です。
- 映像の記録中にmicroSDカードが取り出されると警告音となり、記録の映像の一部が削除したりmicroSDカードがこわれる場合があります。
- 電源ONのあと、録画の開始まで時間がかかります。必ず録画が開始されたことを確認してからご使用ください。

電源のON/OFF



■電源のON

本機には電源ボタンがありません。

車のパワー（イグニッション）スイッチをオンにすると、本機の電源がONになり、効果音（♪ピロリロリン）とボイスアシスト（常時録画を開始します）を出力し、常時録画が開始されます。【→P34】

本機の電源がONにならない場合、「故障かな?と思ったら」を参照してください。【→P60】

■電源のOFF

パワー（イグニッション）スイッチをオフにすると、スーパーキャパシタ*により、最後の録画ファイルを安全に保存します。動作LEDが消灯し、効果音（♪ピ）のあと、自動的に電源がOFFになります。

- * スーパーキャパシタ：蓄電能力を持つコンデンサ
高温に強く安全性が高い

はじめに

取り付けと
準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

アフター
サービス

エラーメッセージ

エラーメッセージは情報表示エリア上に表示されます。

* 表示位置は情報・サブ画面設定を確認してください。【⇒P41】

SDカード認識エラー
SDカードが
「挿入されていない」
「フォーマットされていない」
「破損している」
などの異常です。

■microSDカード認識エラー

microSDカードが「挿入されていない」、「フォーマットされていない」、「破損している」などの異常が発生した場合、動作LEDが消灯し、効果音（♪ポロロン*繰り返し）とボイスアシスト（SDカードを認識しません）を出力し、本機のディスプレイに左のエラーを表示します。

* フォーマットしてもディスプレイに「SDカード認識エラー」を表示する場合は、新しいmicroSDカードに交換してください。

SDカードエラー
SDカードのファイルシステム、またはアロケーションサイズが間違っているため、SDカードをフォーマットします。
（フォーマットするとデータは全て消去されます）

■microSDカードファイルシステムエラー

新しいmicroSDカードと交換してmicroSDカードのファイルシステム、またはアロケーションサイズが違ってしまった場合、動作LEDが消灯し、効果音（♪ポロロン*繰り返し）を出力し、本機のディスプレイに左のエラーを表示し、フォーマットの確認をおこないます。

* フォーマットしてもディスプレイに「microSDカードファイルシステムエラー」を表示する場合は、新しいmicroSDカードに交換してください。

SDカードエラー
SDカードに異常があります。
SDカードを交換してください。
。

■microSDカード異常エラー

microSDカードの書き込み禁止モードを検知した場合、動作LEDが消灯し、効果音（♪ポロロン*繰り返し）を出力し、本機のディスプレイに左のエラーを表示します。

* 新しいmicroSDカードに交換してください。

カメラエラー
カメラの接続を確認してください。

■カメラエラー（リヤカメラのみ対象）

本体にリヤカメラが接続していない場合、動作LEDが消灯し、効果音（♪ポロロン*繰り返し）を出力し、本機のディスプレイに左のエラーを表示します。

* 接続を見直してください。【⇒P19】

ディスプレイ

本機の電源がONになると常時録画を開始し、次の画面を表示します。

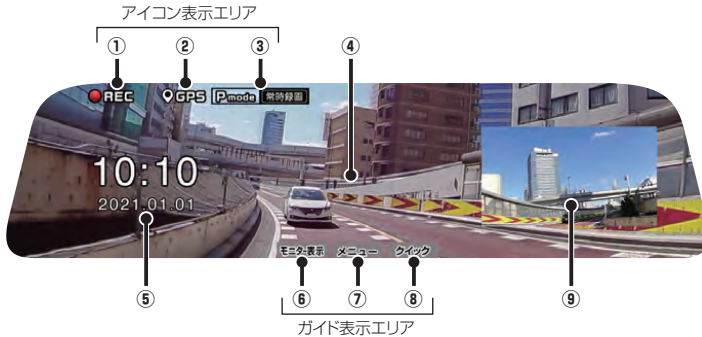
本体下部の左/中/右ボタンを押して、設定メニューの変更または録画映像の再生ができます。

* 画面はフロントカメラを接続してモニター表示設定をRカメラ（表示1）+Fカメラ（サブ画面）、付属のGPSユニット接続、リヤカメラを正像、情報・サブ画面表示情報設定を左・サブ右に設定時の表示です。

* TZ-D203Mはオプションのフロントカメラを接続していない場合、Rカメラ（表示1）+Fカメラ（サブ画面）設定時、サブ画面は表示されません。

⚠ 注意

・運転に支障がないよう、電子インナーミラーに表示するリヤカメラ表示エリアを調整してください。【➡P44】



名称	アイコン / ガイド	内容
① 録画モード		常時録画の状態 イベント録画の状態（表示中、本体の操作はできません） クイック録画の状態（表示中、本体の操作はできません）
② GPS		付属の GPS ユニットで GPS を測位すると表示します。
③ パーキングモード		オン 常時の状態 オン モーションの状態 オン 常時+イベントの状態 オン モーション+イベントの状態 オフの状態
④ メイン画面	—	リヤカメラの映像を表示します。 * 安全運転支援機能は、メイン画面のセンター位置に表示します。
⑤ 情報表示エリア	—	情報（日付または速度*）、GPS おしらせ機能*を表示します。 * 付属のGPSユニットの接続が必要です。
⑥ モニター表示（常時録画中の場合）		左ボタンの機能名を表示します。
⑦ メニュー（常時録画中の場合）		中ボタンの機能名を表示します。
⑧ クイック（常時録画中の場合）		右ボタンの機能名を表示します。
⑨ サブ画面	—	フロントカメラの映像を表示します。

* 設定メニューの「アイコン/ガイド表示」をオフにするとアイコン（①②③）とガイド（⑥⑦⑧）を非表示にできます。【➡P41】

* 情報表示エリア（⑤）/アイコン表示エリア（①②③）の表示位置とサブ画面（⑨）は、設定メニューの「情報/サブ画面表示」で入れかえます。【➡P41】

はじめに

取り付けと
準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

アフター
サービス

モニター表示の切りかえ

左ボタン（モニター表示） を短押し（1秒以内）すると、モニター表示が①→②→③→④…の順に切りかわります。



左ボタン（モニター表示）

①リヤカメラ（表示1）＊1



②Rカメラ（表示1）＋Fカメラ（サブ画面）＊3



③オフ（ミラー）



④リヤカメラ（表示2）＊2



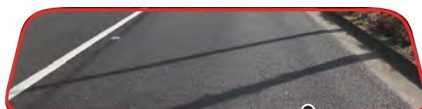
- *1 初期設定ではリヤカメラの左右幅の100%を表示しています **【⇒P44、P45】**
- *2 初期設定ではリヤカメラの左右幅の50%を表示しています **【⇒P44、P45】**
- *3 フロントカメラ接続時のみサブ画面は表示します。

バックモードの切りかえ

左ボタン（モニター表示） を長押し（2秒以上）すると、リヤカメラ映像をバックに適した（カメラ下部領域）表示になります。



左ボタン（モニター表示）

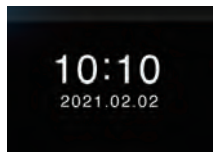


赤枠が表示されます

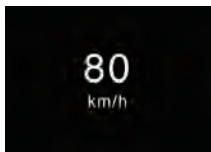
再度、**左ボタン（モニター表示）** を長押し（2秒以上）すると、バックモードを終了します。

情報表示エリア

設定メニューの情報表示を時計、速度（付属のGPSユニットの接続時）にすると情報が表示されます。



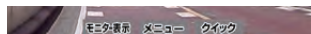
時計



速度

音量調整

本機のスピーカーから出力される音量を調整します。



右ボタン（クイック）

常時録画中に右ボタンを長押し（1秒以上）するたびに、音量が調整できます。2→3→0→1→ループ

* 音量調整は設定メニューの音量調整からも設定でき、0に設定するとミュート（無音）になります。

はじめに

取り付けと
準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

アフター
サービス

録画方法

録画モードについて

本機の電源がONになると、自動的に常時録画が開始されます。

録画モードの状態は、ボイスアシストと画面アイコンで確認できます。【➡P31】

*記録中の音声を録音しない場合、設定で「音声録音」をオフにしてください。【➡P42】

常時録画モードとイベント録画モード

■ 常時録画モード

効果音（♪ピロリロリン）とボイスアシスト（常時録画を開始します）を出力し、常時録画が開始されます。常時録画中、動作LEDは緑色点滅（1秒間点灯と1秒間消灯を繰り返す）し、1分単位で録画し続けます。



*パーキングモードでは、常時録画画質の設定によって1ファイルの録画時間が変動します。

■ イベント録画モード（自動）/クイック録画

常時録画中にイベント（走行中の外部衝撃や事故）が発生した場合や手動でクイック録画を開始した場合、常時録画を中断して、効果音（♪ピロリロリン*速い）とボイスアシスト（イベント録画を開始します / クイック録画を開始します）を出力し、前後のイベント録画ファイルを生成します。イベント録画中、動作LEDが速い緑色点滅（0.5秒点灯と0.5秒消灯を繰り返す）します。録画終了後、常時録画モードに戻ります。



*常時録画はイベント発生まで録画します。

- * 録画映像は、リヤカメラ/フロントカメラの正像鏡像切りかえスイッチの設定内容で録画されます。
- * イベントとは、衝撃を検知した場合という意味で使用しています。センサーが高感度に設定されている場合、細かな衝撃も検知します。センサー感度が低感度に設定されている場合、強い衝撃のみ検知します。「3Gセンサー感度」で調整することができます。【➡P41】
- * 車や運転の状態など様々な要因により、イベント録画にならない場合があります。
- * 記録映像がmicroSDカードの容量を超えた場合、古い記録映像データから順次自動消去されます。
- * 常時録画とイベント録画で生成されたファイルは指定のフォルダに保存されます。
- * 常時録画（microSDカード総容量の80%）、イベント録画（microSDカード総容量の15%）で分割管理されています。
- * リヤカメラとフロントカメラの記録映像は、Windowsメディアプレーヤーなど専用ビューアソフト以外でも映像を再生できます。
- * 録画モードでイベント録画（クイック録画）をおこなっている最中は、ボタンの操作を受け付けません。ボタンの操作をおこなう場合は、常時録画中におこなってください。
- * 録画中の状況により、録画のビットレートは可変します。
- * 事故など発生した場合、録画ファイルを上書きしないよう、本機からmicroSDカードを取り出して保管してください。
- * スーパーキャパシタ（蓄電能力を持つコンデンサ）により、事故の衝撃で電源ケーブルが外れてしまっても録画映像を正常に保存します。*蓄電状況によっては、正常に保存されない場合があります。

microSDカードの保存先とファイル名について

録画モード	保存フォルダ名	ファイル名	最大保存容量
常時録画モード	INFINITE	通常時 : NNF_****.MP4	microSD カード総容量の 80% (最大容量を超えた場合、古いデータから順次自動消去されます)
	└1:リヤカメラ映像	パーキングモード : PNF_****.MP4	
	└2:フロントカメラ映像	パーキングモード (モーション) : PMF_****.MP4	
イベント録画モード	EVENT	通常時 : NEF_****.MP4	microSD カード総容量の 15% (最大容量を超えた場合、古いデータから順次自動消去されます)
	└1:リヤカメラ映像	パーキングモード : PEF_****.MP4	
	└2:フロントカメラ映像		

- * ファイル名の**** には、年月日・時分秒・インデックス_カメラ映像番号（1:リヤカメラ映像、2:フロントカメラ映像）が入ります。例: 210101-101010-000001_1は、2021年1月1日10時10分10秒 インデックス00001リヤカメラ映像です。

クイック録画機能（手動）

イベントを手動で録画するための機能です。記録映像はmicroSDカードの[EVENT]フォルダに保存されます。

- * 録画映像は、クイック録画を開始した5秒前と20秒後を含み記録します。
- * この機能は、本機がイベント録画中である場合は使用できません。

1 常時録画中に**右ボタン（クイック）**を短押しする。



右ボタン（クイック）

効果音（♪ピロリロリン*速い）とボイスアシスト（クイック録画を開始します）を出力し、クイック録画が開始されます。クイック録画中、動作LEDが速い緑色点滅（0.5秒点灯と0.5秒消灯を繰り返す）します。クイック録画終了後、常時録画モードに戻ります。



動作 LED

撮影モードについて

静止画を手動撮影するためのモードです。撮影した画像（JPGファイル）はmicroSDカードの[CAPTURE]フォルダに保存されます。

- * microSDカード総容量の3%に保存可能です。最大容量を超えた場合、古いデータから順次自動消去されます。
- * 撮影された静止画(JPGファイル)は、本機や専用ビューアソフトで表示できません。直接パソコンなどでmicroSDカードから参照してください。
- * フロントカメラ接続時は前後の静止画を撮影します。

1 常時録画中に**中ボタン（メニュー）**を押して、メインメニュー画面に切りかえる。



中ボタン（メニュー）

2 **左右ボタン（◀▶）**を押して、「撮影モード」を選択し、**中ボタン（ENT）**を押す。（1秒以内）



左ボタン（◀） 中ボタン（ENT） 右ボタン（▶）

3 **中ボタン（📷）**を押す。



中ボタン（📷）

中ボタン（📷）以外を押すと、撮影機能を終了します。

はじめに

取り付けと
準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

アフター
サービス

パーキングモードについて

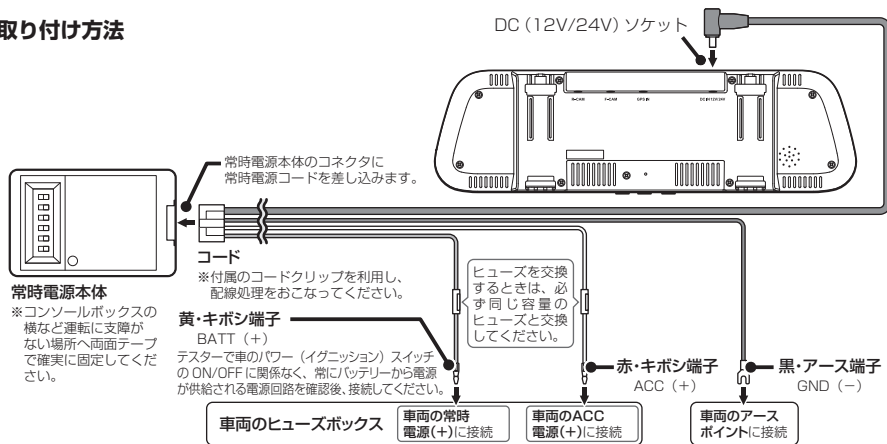
オプションのGDO-41常時電源コード（496288602041）を使用するとタイマー機能、電圧監視機能により、最大12時間本機に電源を供給します。録画方式は常時、モーション、常時+イベント、モーション+イベントから選択できます。パーキングモードは、パワー（イグニッション）スイッチをオフにし、ACCがOFFになってから約6秒後画面が消え、パーキングモードを開始します。パーキングモード中の動作LED **【➡P39】**

パワー（イグニッション）スイッチをオンにし、ACCがONになると約6秒後にパーキングモードが解除され、常時録画になります。

警告

- ・パーキングモードでは、必ずオプションのGDO-41常時電源コード（496288602041）を使用してください。直結配線DCコードなどを接続し、直接電源を供給できる状態では、パーキングモードを設定できません。
- ・パーキングモードによる車のバッテリーあがりに関して一切の責任を負いかねます。お客様自身にて、定期的なバッテリー点検をおすすめいたします。
- ・暗い場所など録画できない場合があります。
- ・タイマー設定時間内であっても、バッテリーの電圧によっては電圧監視機能がはたらき、録画を停止します。あらかじめ、ご了承ください。
- ・車両/バッテリーの寿命を短くすることがあるため、オプションの常時電源コードの設定を**1時間、12Vに設定**することを推奨します。【➡P37】
- ・パーキングモードは、周囲の状況により、正常に動作しない場合があります。
- ・車両がスリープモード時に電圧降下しない電源に配線してください。

取り付け方法



- ・オプションの常時電源コードに付属の取扱説明書をよく読み、正しく設定の上、ACCがOFFのときに接続してください。
- ・本機がオプションの常時電源コードを認識できない場合やパーキングモード中、DCコードを抜いた場合、パワー（イグニッション）スイッチをOFFにし、本体の動作LED消灯を確認後、パワー（イグニッション）スイッチを入れなおしてください。

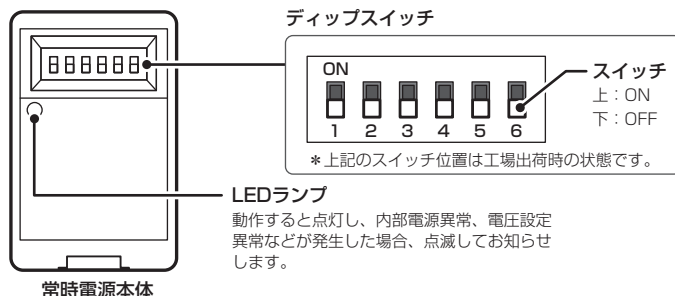
パーキングモードの録画仕様について

画像	D1（リヤカメラ/フロントカメラ）
画質	低
明るさ	中
コントラスト	中

- ・パーキングモードのバッテリー電源供給時間は、常時電源本体のディップスイッチの設定で動作します。【➡P37】

常時電源コードの設定

オプションのGDO-41常時電源コード(496288602041)は、常時電源本体のディップスイッチにて設定します。



先の細かいもので
スイッチのON/OFFを
切りかえてください。



■ パーキングモードの時間設定

【スイッチ1～3】 タイマー機能によって電源供給する時間を設定します。設定時間を超えると電源供給がオフになります。

※パーキングモードを使用しないときは、電源供給する時間を「0時間」に設定してください。



■ 12V車の電圧設定

【スイッチ4】 12V車の電圧を設定します。



【スイッチ5、6】 電圧監視機能によって監視する電圧を設定します。設定した電圧を下回ると電源供給がオフになります。



■ 24V車の電圧設定

【スイッチ4】 24V車の電圧を設定します。



【スイッチ5、6】 電圧監視機能によって監視する電圧を設定します。設定した電圧を下回ると電源供給がオフになります。



はじめに

取り付けと
準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

アフター
サービス

パーキングモードの録画モード設定

* 常時電源コード未接続時は、パーキングモードの設定は表示されません。

- 1 常時録画中に**中ボタン (メニュー)**を押して、メインメニュー画面に切りかえる。



- 2 **左右ボタン (◀▶)**を押して、「設定モード」を選択し、**中ボタン (ENT)**を押す。(1秒以内)



- 3 **左右ボタン (◀▶)**を押して「パーキングモード」を選択し、**中ボタン (ENT)**を押す。(1秒以内)



- 4 **左右ボタン (◀▶)**を押して、設定したいパーキングモードの録画モードを選択する。

- 5 **中ボタン (ENT)**を短押し (1秒以内) して設定を確定する。
中ボタン (ENT) を長押し (2秒以上) すると録画モードに戻ります。
左右ボタン (◀▶) を長押し (2秒以上) すると1つ上のメニューに戻ります。



常時電源コードが接続されると、画面に「パーキングモード設定」のアイコンを表示します。

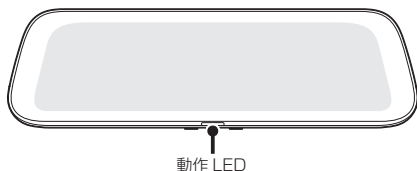
* パーキングモードのアイコンは、設定したパーキングモードの録画モードにより異なります。【➡P31】

パーキングモードの録画モード

オン 常時	常時録画を記録しつづけます。(古いファイルは消去されます。 * 常時録画は [INFINITE] フォルダに保存されます。
オン モーション	本機のカメラがモーション (動作) を検知した場合、常時録画を 1 ファイル記録します。 * モーション録画は常時録画として [INFINITE] フォルダに保存されます。
オン 常時+イベント	常時録画とイベント録画をおこないます。イベントが発生した場合、1 ファイルに 25 秒 (前 5 秒、後 20 秒) のイベント録画を記録します。 * 常時録画は [INFINITE] フォルダ、イベント録画は [EVENT] フォルダに保存されます。
オン モーション+イベント	本機のカメラがモーション (動作) を検知した場合、常時録画を 1 ファイル記録し、イベントが発生した場合、1 ファイルに 25 秒 (前 5 秒、後 20 秒) のイベント録画を記録します。 * モーション録画は常時録画として [INFINITE] フォルダ、イベント録画は [EVENT] フォルダに保存されます。

* パーキングモードでは、常時録画画質の設定によって 1 ファイルの録画時間が変動します。

パーキングモードの動作LED



動作 LED

常時録画	遅い緑色点滅（2 秒点灯と2秒消灯を繰り返す）
モーション録画	検知：遅い緑色点滅（2 秒点灯と2 秒消灯を繰り返す） 待機中：遅い 2 回緑色点滅 （2 秒間に点灯と消灯を2回おこなった後 2 秒消灯を繰り返す）
イベント録画	速い緑色点滅（0.5 秒点灯と 0.5 秒消灯を繰り返す）

パーキングモードの動作

パワー（イグニッション）スイッチをオフにし、ACCがオフになってから6秒後、パーキングモードが作動し、画面が消え、録画モードの状態を動作LEDの緑色点滅（上記の表参照）で表示します。

パーキングモードの動作中、クイックボタンを押すと動作LEDが速い緑色点滅（0.5秒点灯と0.5秒消灯を繰り返す）し、クイック録画をおこないます。録画後、常時録画に戻ります。

パーキングモードの動作中、イベントが発生した場合

パワー（イグニッション）スイッチをオンにし、本機が起動した際に効果音（♪ピポピン）とボイスアシスト（録画ファイルがあります）を出力し、「パーキングモード」のアイコンに赤枠が表示されます。次回起動時、アイコンは元に戻ります。



「パーキングモード」のアイコン

* パーキングモード中のイベント録画の感度は、パーキングモード感度にて調整してください。【⇒P42】

* イベント録画が発生した初回の起動時のみお知らせします。

パーキングモードの動作中、モーション録画が発生した場合

パワー（イグニッション）スイッチをオンにし、本機が起動した際に効果音（♪ピポピン）とボイスアシスト（録画ファイルがあります）を出力し、「パーキングモード」のアイコンに赤枠が表示されます。

次回起動時、アイコンは元に戻ります。



「パーキングモード」のアイコン

* パーキングモード中のモーション録画は、1ファイルに記録される録画時間が、画像モード設定により変動します。【⇒P63】

* モーション録画が発生した初回の起動時のみお知らせします。

はじめに

取り付けと
準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

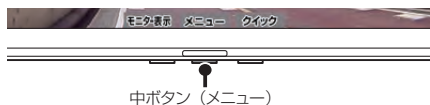
アフター
サービス

各種設定の変更

設定の変更方法（例：アイコン・ガイド表示）

各設定メニュー【P41～P43】を変更する場合、以下の手順でおこないます。
専用ビューアソフトで本機の設定も可能です。

- 1 常時録画中に**中ボタン（メニュー）**を押して、メインメニュー画面に切りかえる。



- 2 **左右ボタン（◀▶）**を押して、「設定モード」を選択し、**中ボタン（ENT）**を押す。（1秒以内）



- 3 **左右ボタン（◀▶）**を押して「アイコン・ガイド表示」を選択し、**中ボタン（ENT）**を押す。（1秒以内）



- 4 **左右ボタン（◀▶）**を押して、設定したいモードを選択する。

オン・アイコン+ガイド	アイコン（ディスプレイ上部）とガイド（ディスプレイ下部）を表示します。
オン・アイコン	アイコン（ディスプレイ上部）を表示、ガイド（ディスプレイ下部）を非表示にします。
オフ	アイコン（ディスプレイ上部）とガイド（ディスプレイ下部）を表示しません。

- 5 **中ボタン（ENT）**を短押し（1秒以内）して設定を確定する。
中ボタン（ENT）を長押し（2秒以上）すると録画モードに戻ります。
左右ボタン（◀▶）を長押し（2秒以上）すると1つ上のメニューに戻ります。

設定一覧

メインメニュー	初期設定値	設定項目
画像モード設定	高画質	高画質 : FullHD の画質で録画します。 標準 : HD の画質で録画します。 長時間 : 録画画質を長時間録画に適した設定にします。 カスタム : 録画画質などの設定をお好みで設定できます。【→ P43】
リヤカメラ設定	HDR ナイトクリア 1	ノーマル : HDR、ナイトクリアによる画像補正をおこないません。 HDR/ ナイトクリア : HDR による画像合成技術により、急激な明るさの変化が発生しても白とびや黒つぶれを低減して録画します。 また、夜間、トンネル内など、少ない光量でも録画できます。 HDR ナイトクリア 1 : HDR とナイトクリアによる画像補正をおこないます。 ナイトクリアによる光量の効果は（小）です。
フロントカメラ設定 * 1	HDR ナイトクリア 1	HDR ナイトクリア 2 : HDR とナイトクリアによる画像補正をおこないます。 HDR ナイトクリア 3 : HDR とナイトクリアによる画像補正をおこないます。 ナイトクリアによる光量の効果は（大）です。
3G センサー感度	6	10 : 3G センサーを高感度に設定します。 9 8 7 6 5 4 3 2 1 : 3G センサーを低感度に設定します。 カスタム : 3G センサーの設定をお好みで設定できます。【→ P43】
録画モード	常時+イベント	常時 : 常時録画（1 分単位）します。 常時+イベント : 常時+イベント録画します。
音量調整	2	3 : 音量を（大）にします。 2 : 音量を（中）にします。 1 : 音量を（小）にします。 0 : 音量を（無）にします。
画面明るさ	3	4 : ディスプレイの輝度を最大にします。 3 2 1 : ディスプレイの輝度を最小にします。
モニター表示	リヤカメラ	リヤカメラ（表示 1） : リヤカメラを表示エリア 1 で表示します。 （初期設定値：映像全体の 100% を表示） R カメラ（表示 1） + F カメラ（サブ画面）*1 : リヤカメラをメイン、フロントカメラをサブ画面に表示します。 オフ : 映像を非表示にします。 リヤカメラ（表示 2） : リヤカメラを表示エリア 2 で表示します。 （初期設定値：映像全体の 50% を表示）
情報・サブ画面表示	情報左・サブ右	情報左・サブ右 : 情報表示エリア、アイコンを左側、サブ画面を右側に表示します。 情報右・サブ左 : 情報表示エリア、アイコンを右側、サブ画面を左側に表示します。
アイコン・ガイド表示	オン・アイコン+ガイド	オン・アイコン+ガイド : アイコン（ディスプレイ上部）とガイド（ディスプレイ下部）を表示します。 オン・アイコン : アイコン（ディスプレイ上部）を表示、ガイド（ディスプレイ下部）を非表示にします。 オフ : アイコン（ディスプレイ上部）とガイド（ディスプレイ下部）を表示しません。
情報表示	時計	時計 : 時計を表示します。 速度 : 速度を表示します。*2 オフ : 画面表示しません。

* 1: TZ-D203MW は付属のフロントカメラ、TZ-D203M はオプションのフロントカメラ（V9TZDRX13）接続時、設定できます。

* 2: 付属の GPS ユニット接続時、設定できます。

はじめに

取り付けと
準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

アフター
サービス

設定一覧 (つづき)

メインメニュー	初期設定値	設定項目
音声録音	オン	オン オフ
ディマー	オン	オン : ディマー機能を設定します。 オフ : ディマー機能を設定しません。 * ディマーを「オン」にすると、4月～10月は18:00～5:00、11月～3月は16:00～7:00にディスプレイの輝度を自動で下げます。
ボイス	オン	オン : 音声案内をおこないます。 オフ : 音声案内をおこないません。
LED 表示	オン	オン : 本機の状態を動作 LED でお知らせします。 オフ : 動作 LED を消灯します。
インボース記録	オン	オン : 録画映像の画面に日付情報、現在地の緯度経度*2、走行速度を記録します。 オフ : 録画映像の画面に日付情報、現在地の緯度経度*2、走行速度*2を記録しません。
位置情報取得 * 2	オン	オン : GPS から位置情報を取得し記録、表示します。 オフ : GPS から位置情報を取得しません。
リヤカメラ表示エリア	表示 1	表示 1 : 表示 1 を調整します。【⇒ P44、P45】 表示 2 : 表示 2 を調整します。【⇒ P44、P45】
GPS おしらせ機能 * 2	小学校、中学校以外オン	取締機 : オービスなど速度取締機の設置ポイントをお知らせします。 高速道逆走注意エリア : 高速道路上の逆走が発生しやすいエリアをお知らせします。 ゾーン 30 : 生活道路における歩行者などの安全な通行を確保することを目的として、制限速度30キロに設定された区域 (ゾーン 30) をお知らせします。 事故多発エリア : 事故発生率の高いエリアです。 事故多発路線 : 事故発生率の高い路線です。 小学校 : 学校付近でお知らせします。 中学校 : 学校付近でお知らせします。 データ情報 : GPS データの版数を確認します。
安全運転支援機能 (R カメラ) * 2	—	【⇒ P49】
パーキングモード * 4	オン 常時+イベント	オン 常時 オン モーション オン 常時+イベント オン モーション+イベント オフ
パーキングモード感度 * 4	6	10 : パーキングモード中のイベント録画の 3G センサーを高感度に設定します。 9 8 7 6 5 4 3 2 1 : パーキングモード中のイベント録画の 3G センサーを低感度に設定します。
日時 * 3	—	年 / 月 / 日 / 時 / 分 【⇒ P46】
フォーマット	—	【⇒ P48】

* 2 : 付属のGPSユニット接続時、設定できます。

* 3 : 付属のGPSユニット接続時、GPSから日時情報を取得するので設定できません。

* 4 : オプションのGDO-41常時電源コード (496288602041) 接続時、設定できます。

画像モード設定「カスタム」時、設定内容一覧

カスタム	設定値	設定項目
画像	D1	FHD HD D1
画質	低	高 標準 低
明るさ	中	明 中 暗
コントラスト	中	高 中 低

3Gセンサー感度「カスタム」時、設定内容一覧

カスタム	設定値	設定項目
前後	6	10 : 3G センサーを高感度に設定します。
		9
		8
		7
左右		6
		5
		4
		3
		2
上下		1 : 3G センサーを低感度に設定します。
		オフ : 3G センサーをオフに設定します。

はじめに

取り付けと
準備

基本操作

各種設定

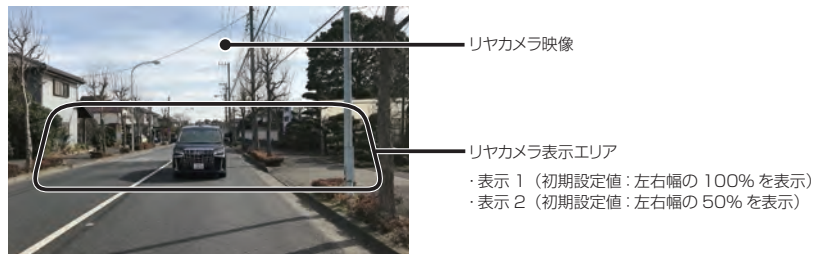
困ったときは

その他

アフター
サービス

リヤカメラ表示エリアの調整

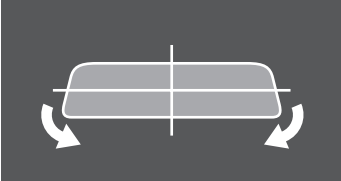
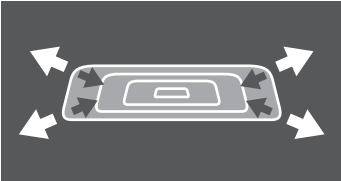
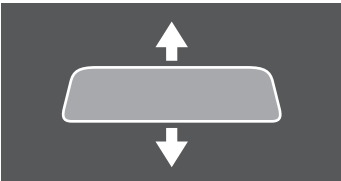
運転に支障がないよう、ディスプレイに表示するリヤカメラ表示エリアを調整してください。
設定したリヤカメラ表示エリアは、「モニター表示」設定で切りかえることができます。



⚠ 注意

- ・リヤカメラ表示エリアの調整には限界があります。リヤカメラの取り付けで角度調整した後、調整してください。
- ・リヤカメラ表示エリアの調整は、車を静止した状態で安全な場所でおこなってください。
- ・リヤカメラ表示エリアはリヤカメラ映像の範囲内で調整できます。映像を超えてしまう場合、調整できません
- ・リヤカメラ表示エリアの調整は、「傾き」からおこなってください。
- ・リヤカメラ表示エリアの「傾き」の調整時、既存の設定内容はリセットされます。

- 1 設定モードにする。【→P40】
- 2 左右ボタン（◀▶）を押して「リヤカメラ表示エリア」を選択し、中ボタン（ENT）を押す。（1秒以内）
- 3 左右ボタン（◀▶）を押して「表示エリア1/表示エリア2」を選択し、中ボタン（ENT）を押す。（1秒以内）
- 4 左右ボタン（◀▶）を押して、調整したい項目を選択し、中ボタン（ENT）を押す。（1秒以内）
* リヤカメラ表示エリアの調整は、「傾き」からおこなってください。
- 5 左右ボタン（◀▶）を押してリヤカメラ表示エリアを調整する。
- 6 調整が終わったら中ボタン（ENT）を短押し（1秒以内）して設定を確定する。
中ボタン（ENT）ボタンを長押し（2秒以上）すると録画モードに戻ります。

リヤカメラ表示エリア	左ボタン	中ボタン	右ボタン
傾き リヤカメラ表示エリアを回転方向に調整します。 * 傾きの調整時、既存の設定内容はリセットされます。	 短押し (1 秒以内): 逆時計回りの調整 長押し (2 秒以上内): 一つ上のメニューに戻る	 短押し (1 秒以内): 調整を決定 長押し (2 秒以上内): 設定値をリセット	 短押し (1 秒以内): 時計回りの調整 長押し (2 秒以上内): 一つ上のメニューに戻る
			
拡大縮小 リヤカメラ表示エリアを拡大縮小します。	 短押し (1 秒以内): 縮小の調整 長押し (2 秒以上内): 一つ上のメニューに戻る	 短押し (1 秒以内): 調整を決定 長押し (2 秒以上内): 設定値をリセット	 短押し (1 秒以内): 拡大の調整 長押し (2 秒以上内): 一つ上のメニューに戻る
			
上下 リヤカメラ表示エリアを上下方向に調整します。	 短押し (1 秒以内): 下方向の調整 長押し (2 秒以上内): 一つ上のメニューに戻る	 短押し (1 秒以内): 調整を決定 長押し (2 秒以上内): 設定値をリセット	 短押し (1 秒以内): 上方向の調整 長押し (2 秒以上内): 一つ上のメニューに戻る
			
左右 リヤカメラ表示エリアを左右方向に調整します。	 短押し (1 秒以内): 左方向の調整 長押し (2 秒以上内): 一つ上のメニューに戻る	 短押し (1 秒以内): 調整を決定 長押し (2 秒以上内): 設定値をリセット	 短押し (1 秒以内): 右方向の調整 長押し (2 秒以上内): 一つ上のメニューに戻る
			
Rカメラ表示エリアリセット リヤカメラ表示エリアの調整内容をリセットします。	【◀】 ボタン 短押し (1 秒以内): 一つ上のメニューに戻る	 短押し (1 秒以内): リセットを実行	【▶】 ボタン 短押し (1 秒以内): 一つ上のメニューに戻る

日時の設定

日付および時間を設定することができます。付属のGPSユニット接続時は、設定の必要はありません。

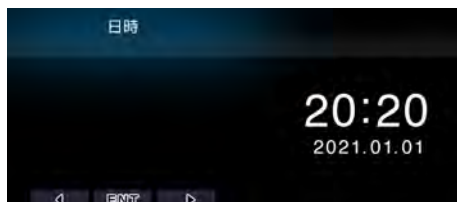
* 設定中は、録画できません。

* 付属のGPSユニット接続時は、GPSから日時情報を取得するので、日時の設定はできない状態になります。

⚠ 注意

• 付属のGPSユニットを接続しない場合、正しく日時を設定しないと、正しい時刻にディマー機能（4月～10月は18:00～5:00、11月～3月は16:00～7:00にディスプレイの自動で輝度を調整）が動作しません。

- 1 設定モードにする。【→P40】
- 2 左右ボタン（◀▶）を押して「日時」を選択し、中ボタン（ENT）を押す。（1秒以内）
- 3 左右ボタン（◀▶）を押して現在の日付および時間を入力する。
点滅している数字が設定できます。



設定中のボタン操作

左ボタン（◀）	短押し（1秒以内）：数字を－1にする 長押し（2秒以上）：設定を決定して一つ上のメニューに戻る
右ボタン（▶）	短押し（1秒以内）：数字を＋1にする 長押し（2秒以上）：設定を決定して一つ上のメニューに戻る
中ボタン（ENT）	短押し（1秒以内）：設定する数字を移動する 長押し（2秒以上）：設定を決定して録画モードに戻る

その他の機能

再生モード

録画した記録映像を本機のディスプレイで再生することができます。

* 再生モード中は、録画できません。

1 常時録画中に**中ボタン（メニュー）**を長押しして（2秒以上）、再生モード画面に切りかえる。

* メインメニューからも再生モードに切りかえできます。

2 **左右ボタン（◀▶）**を押して【常時録画】または【イベント録画】を選択し、**中ボタン（ENT）**を押す。（1秒以内）

選択したモードの再生ファイル一覧が表示され、カーソルがファイル名に移動します。



3 **左右ボタン（◀▶）**で再生したいファイルを選択し、**中ボタン（ENT）**を押す。（1秒以内）

再生ファイルが多い場合は、画面右側の **>** を選択して**右ボタン（▶）**を押し、ページを切りかえます。



* 再生ファイル名は、microSDカードの保存先とファイル名についてを参照してください。【⇒P34】

* ファイルは、記録された時間の順に表示されます。

* ファイル名は実際の製品と異なります。

4 記録映像が再生されます。



* インポーズ記録設定をオンにすると、再生時、記録映像の右下に位置情報（GPSユニット接続して位置情報オン時）と日時情報を表示します。

* フロントカメラを未接続の場合、青画面になります。

再生中のボタン操作

左右ボタン（◀▶）	短押し（1秒以内）：リヤカメラとフロントカメラの映像を切りかえる 長押し（2秒以上）：一つ上のメニューに戻る
中ボタン（ENT）	短押し（1秒以内）：再生を停止し、ファイル一覧に戻る 長押し（2秒以上）：録画モードに戻る

はじめに

取り付けと
準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

アフター
サービス

フォーマット

microSDカードを初期化し、設定した録画画質によって microSDカードにセルスター独自のファイルシステムが適応されます。

* microSDカード内の記録ファイルが全て消去されます。あらかじめ、パソコンなどにファイルのコピーで記録ファイルのバックアップをおこなうことをおすすめします。

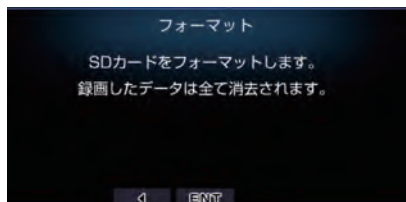
* 本機でフォーマットしても本体の設定値は工場出荷時に戻りません。

1 設定モードにする。[→P40]

2 左右ボタン（◀▶）を押して「フォーマット」を選択し、中ボタン（ENT）を押す。（1秒以内）

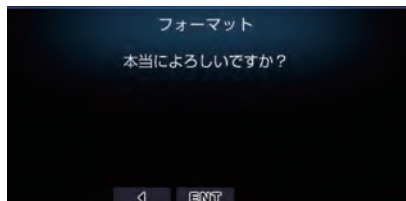
3 中ボタン（ENT）を押す。（1秒以内）

左ボタン（◀）を押すと、フォーマットせずに「設定モード」画面に戻ります。



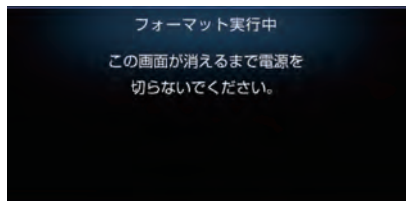
4 中ボタン（ENT）を押す。（1秒以内）

左ボタン（◀）を押すと、フォーマットせずに1つ前の画面に戻ります。



5 ディスプレイには「フォーマット実行中」と表示します。

フォーマット完了後、自動的に再起動をおこない、録画モードが開始されます。



安全運転支援機能（Rカメラ）

リヤカメラで後方の安全運転支援機能を動作して後続車の接近を確認できます。

- * 付属のGPSユニットを接続時のみ動作します。
- * 「キャリブレーション」にて、設置する車に合わせて調整してください。【➡P50】
- * 夜間や悪天候時、また昼間でも路面や走行状況によって機能が動作しない、または頻繁に警告する場合があります。
- * リヤガラスにスモークフィルムを貼っている場合、画像認識しにくいため機能が動作しないことがあります。
- * 取り付けはできるだけ車両の左右の中央部に取り付けてください。中央部から外れますと判定誤差が大きくなり、警告しない、または頻繁に警告する場合があります。
- * 安全運転支援機能による事故に関し一切の責任を負いかねます。
- * 走行状況により後方からの接近の判断ができない場合があります。特に夜間、トンネル内などの暗い場所では判定率が下がるため誤判断（誤認）する場合があります。

後車接近警告

後車が接近すると、警告音（♪キンキョーン）の出力とイベント録画をおこない、ドライバーに注意を促します。

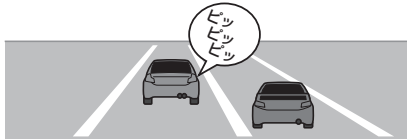
- * 警告音設定でオン+イベント録画を設定すると、後方車が接近時、イベント録画を開始します。



メイン画面のセンター位置にアイコンを表示します。

死角検知警告

設定した速度以上で走行時、後方の左右から接近する車両に対して警告音（♪ピピピ）を出力し、警告します。



メイン画面の左または右にアイコンを表示します。

安全運転支援機能（Rカメラ）の設定内容一覧

メインメニュー	サブメニュー	初期設定値	設定項目
後車接近警告	判定速度	オフ	40キロ/50キロ/60キロ/70キロ/80キロ/90キロ/100キロ/オフ 後車接近警告が動作する走行速度を設定します。
	判定距離	10m	5m/10m
	警告音	オン	オン/オフ/オン+イベント録画
死角検知警告	判定速度	オフ	80キロ/90キロ/100キロ/オフ 死角検知警告が動作する走行速度を設定します。
	警告音	オン	オン/オフ
キャリブレーション			リヤカメラを車に合わせて調整します。【➡P50】

はじめに

取り付けと
準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

アフター
サービス

キャリブレーション（Rカメラ）

安全運転支援機能を設置する車に合わせて調整します。

- 1 設定モードにする。【➡P40】
- 2 **左右ボタン（◀▶）**を押して「安全運転支援機能（Rカメラ）」を選択し、**中ボタン（ENT）**を押す。（1秒以内）
- 3 **左右ボタン（◀▶）**を押して「キャリブレーション」を選択し、**中ボタン（ENT）**を押す。（1秒以内）
- 4 画面を見て**左右ボタン（◀▶）**を押して十字カーソルを左右に移動し、地平線のセンター位置に合わせる。
 - * **中ボタン（◀▶・▼▲切りかえ）**を押す（1秒以内）と、**左右ボタン（▼▲）**で十字カーソルを上下に移動できます。
 - * □の枠内に地平線が入らない場合、リヤカメラの取り付け角度を調整してください。



- 5 **中ボタン（◀▶・▲▼切りかえ）**を長押し（2秒以上）する。
 - * キャリブレーションが実行されます。
- 6 速度30km/hで走行する。
 - * 速度30km/hで走行すると車に合わせて調整し、キャリブレーションが完了します。
 - * キャリブレーション後、十字カーソル「+」の位置が変わることがあります。

GPSおしらせ機能

付属のGPSユニット接続時、内蔵のGPSデータにより安全運転に役立つGPS警告をおこないます。
MyCellstarで最新のGPSデータに更新できます。

- * GPSおしらせ機能（個別設定）をオンにしてください。【➡P42】
- * GPSの測位状態によっては、GPSおしらせ機能が動作しない場合があります。
- * 自車位置で高速道、一般道の判定はしません。
- * 情報表示をオフにすると警告画面は表示しません。【➡P41】



取締機

オービスなど速度取締機の設置ポイントを500m手前でお知らせします。

- * 初期設定はオン



信号無視監視機

信号無視監視機の設置ポイントを500m手前でお知らせします。

- * 取締機の設定となります。個別の設定はできません。



トンネル内速度取締機

トンネル内速度取締機の設置ポイントを500m手前でお知らせします。

- * 取締機の設定となります。個別の設定はできません。



トンネル出口速度取締機

トンネル出口速度取締機の設置ポイントを500m手前でお知らせします。

- * 取締機の設定となります。個別の設定はできません。



高速道逆走注意エリア

高速道路上の逆走が発生しやすいエリアをお知らせします。

- * 初期設定はオン
- * 同種のポイントが連続している場合、おしらせをスキップします。
- * ポイントによりおしらせする場所がわかります。



ゾーン30

生活道路における歩行者などの安全な通行を確保することを目的として、制限速度30キロに設定された区域（ゾーン30）をお知らせします。

- * 走行速度80km/h以下のときに警告します。
- * 初期設定はオン
- * 同種のポイントが連続している場合、おしらせをスキップします。
- * ポイントによりおしらせする場所がわかります。

事故多発エリア



事故多発エリア

事故発生率の高いエリアを 500m 手前でお知らせします。

- * 走行速度80km/h以下のときに一般道に対し、80km/h以上のときに高速道に対し警告します。
- * 初期設定はオン
- * 同種のポイントが連続している場合、お知らせをスキップします。

事故多発路線

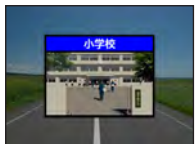


事故多発路線

事故発生率の高い路線を 500m 手前でお知らせします。

- * 走行速度80km/h以下のときに一般道に対し、80km/h以上のときに高速道に対し警告します。
- * 初期設定はオン
- * 同種のポイントが連続している場合、お知らせをスキップします。

小学校

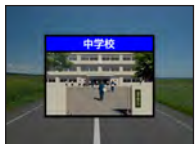


小学校

学校付近でお知らせします。

- * 走行速度80km/h以下のときに警告します。
- * 初期設定はオフ
- * 同種のポイントが連続している場合、お知らせをスキップします。

中学校



中学校

学校付近でお知らせします。

- * 走行速度80km/h以下のときに警告します。
- * 初期設定はオフ
- * 同種のポイントが連続している場合、お知らせをスキップします。

GPSデータ更新

「MyCellstar」からダウンロードした最新のGPSデータが入ったmicroSDカードを用意します。【➡P54】
詳しくは「MyCellstar」のサイトをご覧ください。

<http://www.mycellstar.jp/>

- 1 本体からDCコードをはずし、動作LEDが消灯し、電源がOFFになっていることを確認する。
- 2 最新のGPSデータが入ったmicroSDカードをmicroSDカードスロットに挿入する。
【➡P27】
- 3 DCコードを接続して電源をONにする。
自動的にGPSデータが更新され、本体が再起動します。

GPSデータの版数確認

- 1 設定モードにする。【➡P40】
- 2 **左右ボタン（◀▶）**を押して「GPSお知らせ機能」を選択し、**中ボタン（ENT）**を押す。
（1秒以内）
- 3 **左右ボタン（◀▶）**を押して「データ情報」を選択し、**中ボタン（ENT）**を押す。（1秒以内）



内蔵のGPSデータの版数が表示されます。

はじめに

取り付けと
準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

アフター
サービス

MyCellstarについて

「MyCellstar」は、GPSデータのダウンロードをおこない、最新のGPSデータに更新ができます。
詳しくは「MyCellstar」のサイトをご覧ください。

<http://www.mycellstar.jp>

■ GPSデータの準備

- ・ 付属のmicroSDカードに最新のGPSデータをコピーします。
- ＊ GPSデータ更新時に記録ファイルが消えてしまうおそれがあります。あらかじめパソコンなどにバックアップすることをおすすめします。

■ パソコンの推奨環境

- ・ OS : Windows (8/10以降)
Macintosh (MacOS X 10.5以上)
- ・ CPU : Intel Core2 Duo相当性能
- ・ メモリ : 1GB以上
- ・ グラフィックメモリ : 256MB以上

■ スマートフォンの推奨環境

- ・ OS : Android 5.0以降
- ＊ iOS、Android4.4、microSDカードスロットが無いスマートフォンには対応していません。
- ＊ Android5.0以降、SDカードの書き込み権限の設定が必要です。
- ＊ スマートフォンは、メモリ状況、使用環境などさまざまな要因によりアプリが正常に動作しない場合があります。

パソコンでGPSデータをダウンロード

- 1 ブラウザでMyCellstar (<http://www.mycellstar.jp>) を開く。



クリック

2 リストからTZ-D203MまたはTZ-D203MWを選択し、保存をクリックする。



3 GPSデータにチェックを付け、【次へ】ボタンをクリックする。



4 【ダウンロード】ボタンをクリックする。



はじめに

取り付けと
準備

基本操作

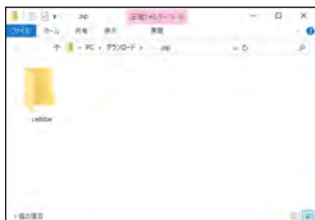
各種設定

困ったときは

その他

アフター
サービス

5 ダウンロードされたGPSデータ（ZIPデータ）を開く。



6 GPSデータ内の「cellstar」フォルダごとmicroSDカードにコピーする。



GPSデータ内

microSDカードのルートディレクトリ

microSDカードに最新のGPSデータが入ります。

GPSデータ更新の手順【➡P53】

GPS測位について

GPSを利用した機能を使用するためには、付属のGPSユニットを接続し、GPSの測位確定が必要となります。本機の電源が入ると、自動的にGPS測位がはじまります。GPSを測位すると効果音（♪ピポピン）とボイスアシスト（GPSを測位しました）を出力し、GPSアイコンが表示されます。



✓ アドバイス

お買い求めいただいて、初めてお使いになる場合

- GPS測位が確定するまでに時間がかかる場合があります（15分程度）これは製品不良や故障などではありません。あらかじめご了承ください。GPS測位に20分以上かかる場合は、電源を入れなおしてください。
- トンネル内、高架下、ビルの谷間、森林の中や高圧電線、高出力無線の近くなどではGPSを測位しにくくなる場合があります。
- GPS機能を使用するには、GPS測位中に限られます。

* GPSの測位状態によっては、GPSおしらせ機能が動作しない場合があります。

超速 GPS について

自車位置を素早く約10秒でGPSを測位するので、ドライブをスムーズにスタートします。

✓ アドバイス

- GPS衛星を受信しにくい条件の場合、時間がかかる場合があります。
- 前回のGPS受信から72時間を経過すると超速GPSは機能しません。その他、様々な条件により機能しない場合があります。
- 最後に電源をOFFにしてから直線距離で300km以上離れた地点で電源をONにした場合、最後に電源をOFFにして次に電源をONしたときにGPS衛星の状態が異なる場合は、動作に時間がかかる場合があります。

はじめに

取り付けと
準備

基本操作

各種設定

困ったときは

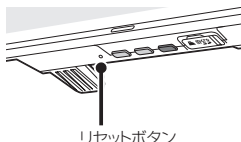
その他

アフター
サービス

システムリセットと強制初期化（強制フォーマット）

本機が誤動作したり、止まってしまった場合、システムリセットまたは強制初期化（強制フォーマット）をおこなってください。

システムリセット

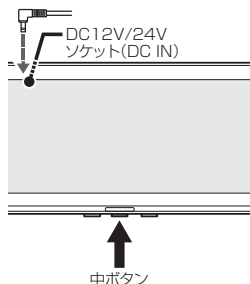


- 1 ピンなどを使用してリセットボタンを押す。
本機がリセットされ、再起動します。

強制初期化（強制フォーマット）

強制初期化（強制フォーマット）をおこなうと、microSDカードがフォーマットされ、本体の設定値が工場出荷時に戻ります。必要に応じて再設定をおこなってください。【▶P41～P43】

* microSDカード内の記録ファイルが全て消去されます。あらかじめ、パソコンなどにバックアップすることをおすすめします。



- 1 本体からDCコードをはずし、電源をOFFにする。
- 2 **中ボタン**を押しながら本体にDCコードを接続し、電源をONにする。
- 3 フォーマット開始の音声が出力されたら**中ボタン**を離す。
microSDカードを強制的にフォーマットし、本機が初期化されます。

専用ビューアソフトについて

本機で録画した映像の記録データの確認や本機の設定をパソコンでおこなうことができます。

専用ビューアソフトと専用ビューア説明書は、下記URLからダウンロードします。

https://www.cellstar.co.jp/dlfm/download_viewer.php

専用ビューアソフトの動作環境

- CPU： Intel Core i3 (4150) 以上 / AMD is Athlon II X4 (650) 以上
- OS： Windows 8 / 10 以上
- メモリ： 1GB 以上
- HDD： 4GB 以上
- GPU： DirectX 9.0c、Intel HD2000 以上、AMD HD 5000 / nvidia Geforce 200 シリーズ以上

- 1 viewer.zipをダウンロードして、圧縮解凍ソフトでファイルを解凍する。
- 2 viewerフォルダを開く。
- 3 フォルダ内の専用ビューア説明書を参照し、専用ビューアソフトをインストールする。
- 4 setup.exeを起動するとインストールが開始される。

専用ビューアソフトの使い方は、「専用ビューア説明書.pdf」をご覧ください。

はじめに

取り付けと
準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

アフター
サービス

故障かな？と思ったら

修理をご依頼される前に、もう一度次のことをご確認ください。

症状	考えられる原因	参照
電源が入らない	• 本機のDCソケットにDCコードは接続されていますか。 • 本機は専用のDCコード（3極DCプラグ/2A）を使用してください。	P24
	• microSDカードは正しく挿入されていますか。 • * microSD カードが挿入されていないと本機は動作しません。	P27
起動時間が長い	• microSDカードの容量によっては起動時間が長くなることがあります。	P6
録画が開始されない	• microSDカードは正しく挿入されていますか。 • * microSD カードに異常がある場合もエラーとなり録画が開始されません。その場合は、microSD カードを取りかえてご使用ください。その際は指定の microSD カードをご使用ください。	P6 P27-P28
	• microSDカード内の記録ファイルが破損した可能性があります。 • * microSD カードをフォーマットしてください。	P48
急ブレーキや急加速のときでも、データが保護されない。 または直ぐに反応してしまふ	• 「3Gセンサー感度」を調整してください。 • *使用状況に合わせて、この設定を調整することをおすすめします。	P41
ひんばんにイベント録画される または録画されない	• 「3Gセンサー感度」を調整してください。 • *使用状況に合わせて、この設定を調整することをおすすめします。	P41
画面を表示しない	• 画面がオフになっていませんか。	P32 P41
再起動する	• 本機に異常があった場合、連続動作するために自動的に再起動し復帰しますが、異常動作ではありません。	—
録画したデータと実際の走行状況が違う	• 付属のGPSユニット接続時、日時、車両の走行速度、位置情報は、GPSの測位から算出するため、実際の数値と異なる場合があります。	—
パーキングモードを設定できない	• 本機が常時電源コードを認識していません。パワー（イグニッション）スイッチを入れなおしてください。	—
設定中に、フォーマット動作になった	• 画像モード設定の変更をされていませんか。変更した場合、microSD カードメンテナンスフリー機能を使用するため、フォーマットが発生し、記録ファイルが消去されます。バックアップされていない場合、本機からDCコードをはずして、電源がOFFになっていることを確認し、microSDカードを抜きパソコンなどにファイルのコピーでバックアップをおこなうことをおすすめします。	P28
設定が初期値に戻る	• 本機以外でフォーマットをおこなっていませんか。 • 新しいmicroSDカードに交換していませんか。 • * microSD カード内に本機の設定ファイルが無いため設定が初期値に戻ります。再設定をおこなってください。	P27

製品の仕様

		TZ-D203M	TZ-D203MW
リヤカメラ	撮像素子	200 万画素 カラー CMOS センサー	
	フレームレート	30fps	
	視野角	水平 117.9°、垂直 62.2°、対角 141.2°	
	F 値	2	
	最低被写体照度	3LUX	
	録画画素数	200 万画素 (FullHD) / 100 万画像 (HD) / 35 万画素 (D1)	
フロントカメラ	撮像素子	—	200 万画素 カラー CMOS センサー
	フレームレート	—	30fps
	視野角	—	水平 117.9°、垂直 62.2°、対角 141.2°
	F 値	—	2
	最低被写体照度	—	3LUX
	録画画素数	—	200 万画素 (FullHD) / 100 万画像 (HD) / 35 万画素 (D1)
録画画質	FullHD	高画質 (10Mbps) / 標準 (8Mbps) / 低画質 (6Mbps)	
	HD	高画質 (6Mbps) / 標準 (4.5Mbps) / 低画質 (3Mbps)	
	D1	高画質 (3Mbps) / 標準 (2Mbps) / 低画質 (1Mbps)	
録画面角	FullHD	水平 117.9°、垂直 62.2°、対角 141.2°	
	HD		
	D1	水平 94°、垂直 62.2°、対角 115°	
録画圧縮		録画 MP4 コンテナ形式 (h.264)、静止画 JPEG	
録画トリガ		常時録画 / 常時録画 + イベント録画 / クイック録画 (常時録画 / モーション録画 / 常時録画 + イベント録画 / モーション録画 + イベント録画 ※パーキングモード時)	
GPS		有り	
HDR		有り	
3G センサー		有り (衝撃感度 10 段階)	
対応外部記憶媒体		8GB : V9TZDRX09 / 16GB : V9TZDRX10 / 32GB : V9TZDRX11 / 64GB : V9TZDRX12	
同梱 microSD カード		64GB : V9TZDRX12	
記録データ		日時、加速度、走行速度、位置情報、映像ファイル	
音声録音		有り (オン、オフ設定可)	
外部映像出力		なし	
インターネット地図連動		有り	
電源電圧		DC12V/24V	
動作温度範囲		-10℃ ~ +60℃	
本体サイズ		265 (W) × 24 (D) × 76.3 (H) mm	
本体重量		362g	
リヤカメラ / フロントカメラ サイズ		34.5 (W) × 16 (D) × 34.5 (H) mm * マウントベース取り付け時 59 (H) mm	
リヤカメラ / フロントカメラ 重量		19g	
保証期間		3 年 * 消耗品 (SD カード含む) は除く	

* 「ドライブレコーダー協議会ガイドライン」に基づく表記。

* 録画の条件により、録画のフレームレートやビットレートが変わる場合があります。

はじめに

取り付けと
準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

アフター
サービス

■撮影可能時間の目安

常時録画時間 [min] / microSD カードの容量		録画品質		
		高画質	標準	低画質
8GB	FullHD	約 31 分	約 38 分	約 48 分
	HD	約 48 分	約 59 分	約 88 分
	D1	約 88 分	約 133 分	約 222 分
16GB	FullHD	約 62 分	約 75 分	約 96 分
	HD	約 96 分	約 117 分	約 176 分
	D1	約 176 分	約 265 分	約 442 分
32GB	FullHD	約 124 分	約 151 分	約 192 分
	HD	約 192 分	約 235 分	約 352 分
	D1	約 352 分	約 529 分	約 882 分
64GB	FullHD	約 250 分	約 304 分	約 387 分
	HD	約 387 分	約 472 分	約 709 分
	D1	約 709 分	約 1064 分	約 1774 分

イベント録画時間 [min] / microSD カードの容量		録画品質		
		高画質	標準	低画質
8GB	FullHD	約 8 分	約 10 分	約 13 分
	HD	約 13 分	約 18 分	約 26 分
	D1	約 26 分	約 32 分	約 40 分
16GB	FullHD	約 17 分	約 21 分	約 26 分
	HD	約 26 分	約 35 分	約 53 分
	D1	約 53 分	約 63 分	約 79 分
32GB	FullHD	約 34 分	約 42 分	約 53 分
	HD	約 53 分	約 70 分	約 105 分
	D1	約 105 分	約 126 分	約 158 分
64GB	FullHD	約 68 分	約 84 分	約 105 分
	HD	約 105 分	約 140 分	約 211 分
	D1	約 211 分	約 253 分	約 317 分

パーキングモード / microSD カードの容量	最大録画時間
8GB	約 268 分
16GB	約 534 分
32GB	約 1069 分
64GB	約 2152 分

* 撮影の状況、被写体などにより記録されるファイルサイズは一定でないため、記録可能時間に差が生じる場合があります。上記は、あくまでも目安となります。

* 1カメラモデル（TZ-D203M）、2カメラモデル（TZ-D203MW）でも同じ録画時間となります。

■パーキングモードの録画時間について

- パーキングモード中の常時録画とモーション録画

画像モード設定 **【→P41】** によって1ファイルに記録される録画時間が変動します。

モーション録画が発生した場合、常時録画を1ファイル記録します。

画像モード設定	画質	1 ファイルの録画時間
Full HD	高	540 秒
	標準	480 秒
	低	360 秒
HD	高	360 秒
	標準	240 秒
	低	180 秒
D1	高	180 秒
	標準	120 秒
	低	60 秒

- パーキングモード中のイベント録画

イベント録画が発生した場合、画像モード設定共通で1ファイルに25秒（前5秒、後20秒）記録されます。

画像モード設定	画質	1 ファイルの録画時間
Full HD	高	25 秒
	標準	
	低	
HD	高	
	標準	
	低	
D1	高	
	標準	
	低	

* モーション録画は、1ファイルの常時録画された動画を保存します。

はじめに

取り付けと
準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

アフター
サービス

microSDカードのデータについて

- イベント録画フォルダ（EVENT）
イベントが発生した動画または、クイック録画機能で録画した動画を保存します。
（microSDカード全体容量の15%を使用）
1：リヤカメラ映像
2：フロントカメラ映像
- 常時録画フォルダ（INFINITE）
常時録画された1分間の動画*または、パーキングモードのモーション録画で録画された動画を保存します。
（microSDカード全体容量の80%を使用）
1：リヤカメラ映像
2：フロントカメラ映像
- * パーキングモード時は、画像モード設定により録画時間が変動します。
- 撮影フォルダ（CAPTURE）
キャプチャーした画像を保存します。（microSDカード全体容量の3%を使用）
1：リヤカメラ映像
2：フロントカメラ映像
- その他
（microSDカード全体容量の2%を使用）

アフターサービスについて

修理に関して

■ 修理に必要なもの

- ・取扱説明書（保証書欄、修理受付票記入）
- ・修理する製品

■ 保証書と修理受付票のご記入に関して

保証期間中

本書裏表紙の保証書と修理受付票に必要事項をご記入の上、製品に添付して修理受付窓口までお送りください。保証書の規定にしたがって無料で修理および調整させていただきます。

- * ご注意：保証期間中であっても有償修理となる場合がございますので保証規定をよくお読みください。保証書の所定事項（製品名、お買い上げ日、販売店名など）に記入がない場合は、有償修理となります。保証期間中であっても、部品入手不可能により修理ができなくなる場合があります。

保証期間が過ぎているとき

修理受付票に必要事項をご記入の上、製品に添付して修理受付窓口までお送りください。

■ 修理受付票に関して

ダウンロードをご希望のお客様

下記URLよりPDFをダウンロードしてください。（修理受付票PDF ダウンロード：48KB）
https://www.cellstar.co.jp/products/customer/repair_card.pdf

■ 修理をご依頼される前に

1 故障かな？と思ったら【⇒P60】を参考に故障かどうかをご確認ください。

2 また下記URLより「よくあるご質問（FAQ）」を参照ください。
<https://faq.cellstar.co.jp/>

3 下記URLに修理金額の目安が記載されています。事前にご確認ください。
https://www.cellstar.co.jp/customer/repair_price.pdf

- * ご依頼内容の確認のため、記入後必ずコピーを取りお客様控えとしてお手元に保管してください。
- * セルスター工業アフターサービスへ修理品をご送付いただく際、迅速かつ適切な修理をおこなうため、本書裏表紙の保証書と修理受付票に必要事項をご記入の上、製品に添付してください。
- * 修理品などをお送りいただく際の送料に関しては、お客様負担となります。あらかじめご了承ください。
- * 名称、所在地、電話番号は変更される場合があります。ご確認ください。

はじめに

取り付けと
準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

アフター
サービス

■ 修理の流れ

1 ご不明な点は、セルスター工業カスタマーサービスにご連絡ください。

 0570-006867（ナビダイヤル）

 0120-75-6867（フリーダイヤル）

[受付時間] 9:00～18:00

（土・日・祝日および、セルスター工業休業日を除く）

携帯電話・PHS・IP電話などフリーダイヤルがご利用にならない場合:0570-006867

* 修理する製品、保証書をお手元にご用意の上でおかけになるとスムーズにご相談いただけます。

2 修理品の送付先

セルスター工業 アフターサービス

〒518-1145

三重県伊賀市安場 1608-5

TEL. 0120-75-6867

お客様へのお願い

- * 修理・点検作業の際、本機は工場出荷状態に戻ります。お客様が設定した内容や、記録した位置データなどはすべて消去されます。あらかじめご了承ください。
- * 保証期間の有無に関わらず、送料はお客様のご負担となります。あらかじめご了承ください。
- * 運送中の衝撃などに耐えられるよう、梱包をお願いします。
- * 運送中の破損紛失などについては、一切の責任を負いかねます。
- * 有償修理作業完了後、代金引換便にてご返送させていただきます。（処分依頼はお受けいたしませんので、ご返却させていただきます）

個人情報の利用目的について

本機に対するお問い合わせや修理をご依頼される場合の個人情報は次の目的のみ利用されます。

- ① 製品・サービスに関するお問い合わせ、ご相談、修理などに対応するため。
- ② 製品の企画、開発、販売促進、営業活動にお客様のご要望を反映させるため、および満足度向上などの検討に必要な参考資料とするため。

修理受付票

※ご購入の製品に✓点をつけてください。
製品名： ☐ TZ-D203M ☐ TZ-D203MW

ご依頼される前に必ず取扱説明書（本書）をお読みいただき、修理受付票と、裏表紙の保証書にご記入の上、修理依頼品と一緒に添付してお送りください。

お客様ご記入欄

お客様名：		ご住所：	
ご自宅電話番号：			
FAX番号：			
日中で連絡可能な電話番号：		☐ 携帯電話 ☐ ご勤務先 ☐ その他（ ）	
ご購入日：	microSDカードのデータなどの消失に関する同意確認 ・お預かりした製品に付属のmicroSDカードのデータは修理時、バックアップをおこないません。修理の内容によってmicroSDカードを初期化することがあります。いかなる場合でもデータの補償はいたしません。ご了承ください。 ※本項のご署名が無い場合、修理をせずに返却させていただきます。		
同梱した付属品：合計（ ）点	本項の内容について同意します。 ご署名		
①	お見積り連絡： ☐ 不要 / ☐ 必要（ ）円以上の修理の場合に連絡		
②	※不要を選択の場合、お見積り金額はいたしません。なお、お見積り金額に関わらず、修理させていただきます。		
③	具体的な症状： ☐ 常に発生する ☐ 時々発生する ☐ 特定の条件で発生する		
④	できるだけ詳しくご記入ください。		
⑤			
⑥			
⑦			
⑧			
修理品返却先 ※上記住所以外への返却の場合にご記入ください。			
お客様名：		ご住所：	
ご自宅電話番号：			

サービス

その他

困ったときは

各種設定

基本操作

取り付けと準備

はじめに

保証書

保証書は、必ず「販売店名・お買い上げ年月日」などの記入をご確認のうえ
お受け取りになり、保証内容をよくお読みのもと、大切に保管してください。

本証は、セルスター工業の厳密な検査のもと生産、出荷されたものであることを証明し、本証の保証期間内に
正常な使用状態において故障した場合には、本証記載内容のとおり無料で修理および調整をおこなうことを
お約束するものです。修理をご依頼する際には修理受付票【➡P67】も併せてご記入ください。

製品名： ☐ TZ-D203M ☐ TZ-D203MW ※ご購入の製品に✓をつけてください。	保証期間 3年 お買い上げ年月日 から3年間有効
シリアルNo：	お買い上げ年月日： 年 月 日
販売店様 ※必ず、ご記入ください。	
ご住所：	
お電話：	
	

以下の場合は保証の対象外となります。

- ①本製品に付属の取扱説明書に記載された使用方法や注意事項に
反した取扱によって生じた故障・破損
- ②誤用・乱用および取扱不注意による故障
- ③火災・地震・風水害・落雷・その他天災地変や公害・塩害・水掛かり・異
常電圧による故障
- ④不当な修理に起因する故障や、分解・改造の痕跡がみられる故障
- ⑤使用中に生じた傷など外観上の変化
- ⑥保存状態が適切でなかった場合
- ⑦業務目的でご使用になった場合
- ⑧バッテリー・ディスプレイなど消耗品および付属品の交換
- ⑨本証の提示がない場合
- ⑩本証の所定事項（お買い上げ日、販売店名など）に記入がない場合

- ・取付不良、接続不良、不適切な使用状態による車の故障や
事故などの附随的損害の補償については一切この責任を
負いかねます。あらかじめご了承ください。
- ・本証は日本国内においてのみ有効です。また本証の再発
行はいたしませんので大切に保存ください。

修理・点検をご依頼される際の注意事項

設定の記憶やお客様が情報を登録できる製品につきまして、
修理・点検作業の際、本製品は工場出荷状態に戻ります。
お客様が設定した内容や、記録した位置データなどはすべて
消去されます。あらかじめご了承ください。

販売店様へのお願い 保証書欄にお買い上げ年月日、店名、ご住所、お電話番号をご記入の上、お客様へお渡しください。

お客様相談窓口

■電話でのお問い合わせ

<個人のお客様> カスタマーサービス
[受付時間] 9:00～18:00(土日・祝日および、セルスター工業休業日を除く)

 **0570-006867** (ナビダイヤル)

0120-75-6867 (フリーダイヤル)
携帯電話・PHS・IP電話などフリーダイヤルが
ご利用にならない場合：0570-006867

<法人のお客様> セルスター工業株式会社 本社(代)
[受付時間] 9:00～18:00(土日・祝日および、セルスター工業休業日を除く)
TEL.046-273-1100 (代) / FAX.046-273-1106

■メールでのお問い合わせ

下記URL「よくあるご質問 (FAQ)」より
質問を送信してください。

<https://faq.cellstar.co.jp/>



販売元 **トヨタ モビリティ・パーツ株式会社**

[全国自動車用品工業会会員] [一般社団法人ドライブレコーダー協議会会員]
[一般社団法人日本自動車部品工業会会員] [東京都自動車部品組合会員]

製造元 **セルスター工業株式会社**